



第5回 Student Formula SAE Competition of JAPAN

# 全日本 学生フォーミュラ大会

Official Program



## ものづくり・デザインコンペティション

～学生が自ら構想・設計・製作した車両による競技会～

9/12<sup>水</sup>～15<sup>土</sup>

2007

ECOPA

小笠山総合運動公園

OGASAYAMA SPORTS PARK

主催

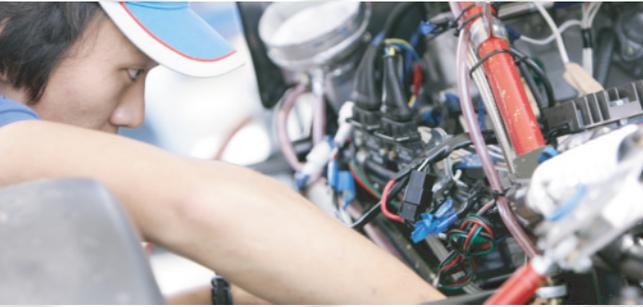
Organizer

社団法人自動車技術会



Society of Automotive Engineers of Japan, Inc. (JSAE)

後援 | 文部科学省, 経済産業省, 国土交通省, 静岡県, 日本自動車工業会, NHK, 日本テレビ放送網, 東京放送, フジテレビジョン, テレビ朝日, 静岡新聞社, 静岡放送, 静岡朝日テレビ, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 日本経済新聞社, 日刊工業新聞社, フジサンケイビジネスアイ, 日刊自動車新聞社, FISITA



大会のコンセプト／競技概要…………… 1  
 Concept of the Competition／Outline of the Competition

競技スケジュール…………… 2  
 Schedule

スポンサー企業一覧  
 Sponsors  
 ／大会を安全にご覧いただくために…………… 4  
 Event Safety

ご祝辞…………… 47  
 Congratulatory Message

ごあいさつ…………… 48  
 Introduction

大会ルールの概要……………49  
 Outline of Rules Governing Competitive Events

表彰…………… 50  
 Awards

参加チーム【車両スペック】……………51～62  
 Team Information (Vehicle Specifications)

参加チーム【チームメンバーとスポンサー】……………63～74  
 Team Information (Members and Sponsors)

主催・後援・協賛・大会スタッフ…………… 75  
 Organisers/Sponsors/Co-Sponsors/Competition Staff

委員会組織…………… 76  
 Committee Member

Formula SAE® とは…………… 77  
 About Formula SAE® Competition

大会開催の経緯…………… 78  
 History of Competition

第4回大会参戦記…………… 79  
 4th Competition Report

第4回大会ドキュメント……………80  
 4th Competition Results

大会グラビア【2006年 第4回大会】……………81  
 Photo gallery

# 大会のコンセプト

## Concept

### 競技会のコンセプト

#### Concept of Competition

全日本学生フォーミュラ大会は、学生たちが企画・設計・製作したフォーミュラスタイルの小型レーシングカーで競技を行います。この大会は、米国で1981年から毎年開催されているFormula SAE<sup>®</sup> (SAE International 主催) のルールに準拠して開催するものです。

大学、短大、高等等の学生がチームを組み約1年かけて製作した車両を持ち寄り、コスト、プレゼンテーション、設計の静的イベント、車検、アクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス、エンデュランスの動的イベントを4日間にわたって行い、車両性能だけでなくものづくりの総合力を競います。そして、優秀なチームを表彰します。

学生たちは、アマチュア週末レーサーに販売することを仮定して車両を製作します。したがって、加速性能、ブレーキ性能、操作性、耐久性が優れているだけでなく、美しさ、快適さ、低コスト、メンテナンス性を高めることも要求されます。また、一日あたり4台の生産計画のもとに、その車両の実質コストはUSD25,000以下としています。さらに、車両製作にあたっての車体フレームとエンジンに関する制約は必要最小限にすることによって、学生の知識や独創性や構想力が発揮できるように配慮しています。

これらの狙いと目標に適合した車両を設計・製作するために学生チームは挑戦します。学生たちは、車づくりを通して実践的な問題解決力や応用力、旺盛な行動力やマネジメント能力など教室では培うことが難しい貴重な経験を積むこととなります。

### 大会運営の基本方針

#### General Policy on Operation Competition

大会運営の最優先事項は、事故のない安全な大会です。そのためには、大会スタッフとチームメンバーとの意思疎通を良くすること。規律ある言動を重視します。

5回目を迎える今年の大会は、海外から4チームのエントリーがあり、海外チームをサポートする国内ホスト校を募集し、チーム間の交流を促進します。

競技種目 Competition category		競技概要 Outline of competition	配点 Awarded points
車検 Tech inspection		(技術検査) ルールで定められた車両の安全・設計要件の適合検査、(ブレーキテスト) 4輪ロック、(騒音テスト) 所定の条件下で排気音110dB以下、(チルトテーブルテスト) 45度傾斜での燃料漏れ確認、60度傾斜での転覆確認。	—
静的審査 Static events	コスト Cost	予算とコストは、生産活動を行うにあたって考慮しなければならない重要な要素であることを参加者に学ばせることが狙い。車両の製造コストは、USD25,000以下。事前の期限までに提出したコストレポートのコスト精度、車両との適合を審査する。一般に購入品目となる2つの部品について、製造プロセスなどの口頭試問を行い、知識、理解度を評価する。	100
	プレゼンテーション Presentation	開発車両の設計が「アマチュアの週末レース市場の要求に合致しており、製造販売で利益を出せることを製造メーカーの役員に納得させる」という仮想シチュエーションで行う。学生のプレゼンテーション能力を評価する。	75
	デザイン(設計) Design	事前の期限までに提出した設計資料と車両をもとに、どのような技術を採用し、どのような工夫をしているか、またその採用した技術が市場性のある妥当なものかを評価する。具体的には、車体および構成部品の設計の適切さ、革新性、加工性、補修性、組立性などについて口頭試問する。	150
動的審査 Dynamic events	アクセラレーション Acceleration	0-75m加速、各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	75
	スキッドパッド Skidpad	8の字コースによる定常円旋回中のコーナリング性能評価。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	50
	* オートクロス Autocross	直線・ターン・スラロームを組み合わせた約800mのコースを1周する。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	150
	* エンデュランスおよび燃費 Endurance & Fuel economy	直線・ターン・スラロームを組み合わせたコースを約22km走行する。各チーム2名のドライバーが中間点で交代して走行し、タイムを競う。燃費審査は、エンデュランス走行時の燃料消費で評価する。	350 (エンデュランス) 50 (燃費)
合計 Total points			1000

\*コースの長さは変更になる可能性があります。  
The course length may be changed.

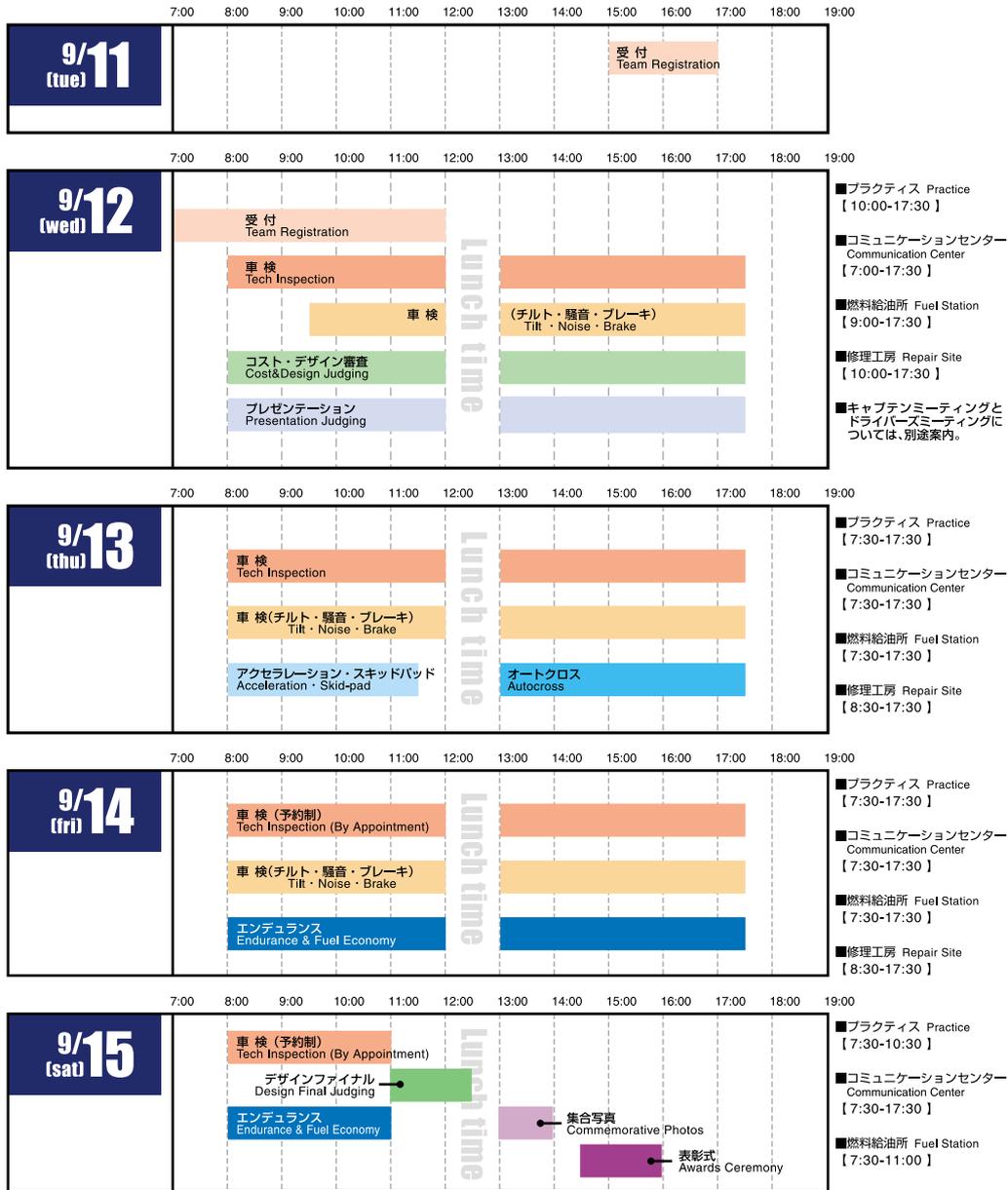
## エントリーチーム

### Car Number & Entry Teams 【エントリー締切日：2007年2月28日】

Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name
1.		上智大学 Sophia University	12.		静岡大学 Shizuoka University	23.		近畿大学(大阪) Kinki University Osaka
2.		名古屋大学 Nagoya University	13.		京都大学 Kyoto University	24.		University of Ulsan
3.		東京電機大学 Tokyo Denki University	14.		武蔵工業大学 Musashi Institute of Technology	25.		信州大学 Shinshu University
4.		宇都宮大学 Utsunomiya University	15.		大阪市立大学 Osaka City University	26.		神戸大学 Kobe University
5.		立命館大学 Ritsumeikan University	16.		名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	27.		茨城大学 Ibaraki University
6.		日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	17.		岡山大学 Okayama University	28.		早稲田大学 Waseda University
7.		東京大学 The University of Tokyo	18.		東京理科大学 Tokyo University of Science	29.		慶應義塾大学 Keio University
8.		国土館大学 Kokushikan University	19.		芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	30.		ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College Kantou
9.		千葉大学 Chiba University	20.		神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology	31.		大阪大学 Osaka University
10.		金沢大学 Kanazawa University	21.		首都大学東京 Tokyo Metropolitan University	32.		同志社大学 Doshisha University
11.		横浜国立大学 Yokohama National University	22.		工学院大学 Kougakuin University	33.		大同工業大学 Daido Institute of Technology

# 競技スケジュール (競技場所は裏表紙の会場マップ参照)

## Schedule



Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name
34.		静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	45.		豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology	56.		Kunsan National University
35.		名城大学 Meijo University	46.		福井大学 University of Fukui	57.		秋田県立大学 Akita Prefectural University
36.		千葉工業大学 Chiba Institute of Technology	47.		日本大学生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University	58.		京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology
37.		東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	48.		岐阜大学 Gifu University	59.		no data
38.		東海大学 Tokai University	49.		Yeungnam University	60.		久留米工業大学 Kurume Institute of Technology
39.		九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	50.		金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	61.		ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai
40.		明星大学 Meisei University	51.		no data			
41.		高知工科大学 Kochi University of Technology	51.		近畿大学工学部 Kinki University School of Engineering			
42.		福井工業大学 Fukui University of Technology	52.		成蹊大学 Seikei University			
43.		Southern Taiwan University of Technology	53.		北海道大学 Hokkaido University			
44.		ものづくり大学 Institute of Technologists	54.		山梨大学 University of Yamanashi			
			55.		no data			
					九州産業大学 Kyushu Sangyo University			

# スポンサー企業一覧 / 大会を安全にご覧いただくために

## Sponsors / Event Safety

### ▶ SSクラス

トヨタ自動車

### ▶ Sクラス

日産自動車

本田技研工業

### ▶ Aクラス

マツダ  
コンティネンタル・オートモーティブ  
ヤマハ発動機  
スズキ  
富士重工業

いすゞ自動車  
V S N  
N T N  
オーテックジャパン  
川崎重工業

ZF JAPAN  
ソフトウェアアクレイドル  
ダイハツ工業  
デンソー  
ミスミグループ本社

三菱自動車工業  
日立製作所

### ▶ Bクラス

日野自動車  
サイバネットシステム  
ソリッドワークス・ジャパン  
日産ディーゼル工業  
アイシン精機

アルテアエンジニアリング  
エイヴィエル ジャパン  
NSKワナー  
エフ・シー・シー  
オートデスク

KYB  
大同特殊鋼  
独立行政法人中小企業整備基盤機構  
トヨタテクニカルディベロップメント  
ポッシュ

ミクニ  
三菱ふそうトラック・バス

### ▶ Cクラス

愛知機械工業  
カルソニックカンセイ  
ケーヒン  
豊田自動織機  
トヨタ車体  
ムラヤマ  
ユタカ技研  
愛三工業  
アイシン・エイ・ダブリュ  
アイシン・エアアイ  
アイシン高丘  
曙ブレーキ工業  
アスモ  
アドヴィックス  
アトラスコプロ  
アネブル  
いすゞエンジニアリング

白井国際産業  
内山工業  
エクセディ  
エンケイ  
小野測器  
関東自動車工業  
菊池プレス工業  
キャタラー  
極東開発工業  
三五  
ジェイテクト  
ジャヤトコ  
ショーワ  
新日本石油  
鈴与  
住鋳潤滑剤  
住友軽金属工業

住友ゴム工業  
住友電装  
ソミック石川  
大成社  
大同メタル工業  
ダイナテック  
ダッド  
中央発條  
ティ・エス テック  
ティラド  
dSPACE Japan  
東海ゴム工業  
東京アールアンドデー  
東京濾器  
東日製作所  
東洋ゴム工業  
豊田合成

トヨタ紡織  
日産車体  
日産テクノ  
日信工業  
日本総研ソリューションズ  
日本特殊陶業  
日本発条  
原田工業  
ビーエスジー  
プリチストン  
フルキャストセントラル  
プレス工業  
山田製作所  
ユニキャット  
横浜ゴム  
ローマックス・テクノロジー・ジャパン

### ▶ Dクラス

アメリカ機械学会日本支部  
いすゞ中央研究所  
エヌエフ回路設計ブロック  
オムロン  
キリウ  
ジェイアイ傷害火災保険

タイコ エレクトロニクスアンブ  
大豊工業  
デンソーテクノ  
東京海上日動火災保険  
東レ  
西川ゴム工業

西鉄エム・テック  
日本ガスケット  
日本ミシュランタイヤ  
バンドー化学  
藤壺技研工業  
松井製作所

ミツバ  
三菱自動車エンジニアリング  
三ツ星ベルト  
ヤマハモーターパワープロダクツ

### ▶ 表彰スポンサー・他

イータス  
小野測器  
共和電業  
東洋ゴム工業  
サイバネットシステム  
住友ゴム工業

横浜ゴム  
プリチストン  
ソリッドワークス・ジャパン  
日本自動車工業会  
V S N  
日本総研ソリューションズ

住友スリーエム  
プレス工業  
ウェブアイ  
アメリカ機械学会日本支部  
FISITA  
堀場製作所

エイヴィエルジャパン  
日本SGI  
アサヒ飲料  
自動車技術会

## 大会を安全に、楽しく観戦していただくためにご協力をお願いします。

- △ 動的会場（会場マップのDynamic area）への立ち入りはいかなる場合でもできません。（除く動的審査参加チームのダイナミックパス保有者・動的審査スタッフ）
- △ 動的審査は、指定の観戦エリアでご観戦ください。また、車両走行中は、カメラのフラッシュはドライバーの運転に影響を与えることから使用をしないようお願いします。
- △ チームビット、車検及び静的審査の各テントへ許可なく立ち入ることはできません。
- △ 喫煙は会場内の指定の喫煙所をお願いします。指定場所以外すべて禁煙です。
- △ ゴミは指定の場所に分別して捨ててください。
- △ 炎天下の観戦については体調管理に十分注意し、水分を補給してください。なお体調を悪くした方は、早めに大会本部までお申し出ください。大会期間中、大会本部に医師、看護士が待機しています。
- △ 大会会場付近には、スズメバチ、ヘビが生息しています。見かけたら近寄らないでください。万一、さされたり、噛まれたりした場合は、近くにいるスタッフに声を掛けるか、大会本部にお申し出ください。
- △ 大会期間中はスタッフの指示に従ってください。

### 第5回 全日本 学生フォーミュラ大会開催を祝して

Congratulatory Message for The 5<sup>th</sup> Student Formula SAE Competiton of Japan



文部科学大臣  
伊吹 文明

第5回全日本 学生フォーミュラ大会の開催を、心からお慶び申し上げます。

本大会は、我が国の将来を担う実践的技術者の育成を図るとともに、大学・高等専門学校等における工学教育の活性化に寄与することを目的としたものであり、参加する学生諸君が、一年の間に企画から設計・製作に至るまでのものづくりのプロセスを体験することを通して創造力・実践力を養うという、たいへん有意義な取組であると考えております。

今回、国内の11チームの初参加と海外からの4チームの参加を含め、合計62チームが参加するなど、年を追って参加校が増えていると聞いております。これは、本大会が社会的にも素晴らしいものであるとの評価を受けてきた表れであり、大変喜ばしく思います。

学生諸君におかれては、本大会への参加を通じて、将来のものづくりを担う技術者としての技能を磨くほか、一定の制約条件下での車両製作や審査の過程におけるプレゼンテーションを通じてマネジメント能力を養うなど、ものづくりの総合力を培い、我が国の産業界を支える実践的な技術者としてご活躍されることを祈念しております。

最後に本大会にご出席された学生、指導教員の方々をはじめ関係者の皆様方の今後のご活躍を祈念するとともに、社団法人自動車技術会をはじめ、本大会の企画・運営を支えられた皆様のご活躍を心よりお祈りし、私のお祝いの言葉といたします。

## 第6回 全日本 学生フォーミュラ大会開催

2008年9月上旬の4日間を予定しています。

皆さんの参加を歓迎します。

## 第5回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて

Welcome to 5<sup>th</sup> Student Formula SAE Competition of Japan



社団法人 自動車技術会  
会長 大久保 宣夫

大久保宣夫

今年で5回目を迎える全日本 学生フォーミュラ大会は、海外から4チームを含めて過去最高の62チームがエントリーいたしました。地域別に見ると、これまで参加がなかった北海道から1チーム、東北から1チーム、関東甲信越から27チーム、中部、東海、北陸から12チーム、関西、中国、四国から13チーム、九州から4チーム、海外は韓国から3チーム、台湾から1チームとなり、日本全国とアジアの学生たちが集う大会となりました。

本大会は、若者の理科離れや学校でのものづくりの機会が不足している状況下のもと「ものづくりによる実践的な人材育成プログラム」として2003年にスタートいたしました。

大会は、クルマの加速、ハンドリング、耐久性といった走行性能に加え、車両コンセプト、設計、製造、コスト、更にはプレゼンテーションスキルも審査の対象となる「ものづくりの総合力」を競い合います。

学生たちは、ものづくりの厳しさ・おもしろさ・喜びの中で、チームマネジメント、コミュニケーション能力を養うことになります。

また、過去4回の大会開催を経て、本活動を経験した多くの学生たちがその経験を生かしてエンジニアの卵として巣立っていったことは喜ばしい限りです。今後ますますこの大会を通して、ものづくりの楽しさを経験したエンジニアが社会で活躍されることを期待いたします。

最後になりますが、参加チームの皆さんのご健闘をお祈りするとともに、150を超える産学官の後援、協賛、スポンサーシップを頂戴した皆様、昨年に引き続き多大なご協力をいただきました開催地の静岡県、掛川市、袋井市の皆様、また、約300名の大会運営スタッフをご派遣いただきました企業、大学の皆様、そして、大会運営スタッフ一人ひとりの皆様に心より御礼申し上げます。

# 大会ルールの概要

## Outline of Rules Governing Competitive Events

参加車両は、学生が構想・設計・製作したもので、2007FSAE®の規定を満たすこと。過去の大会に参加した車両のフレームは使用できない。車両の構成部品についても、安易に市販品等を用いるのではなく、できる限り学生自ら製作することをモットーとする。また、プロの技術者・研究者の情報を利用すること、設計の基礎・安全に車両を製作するための方法に関する指導・支援を受けることは許容するが、設計仕様を決定したり設計図を書いてもらうことは許容しない。

安全面については厳格で緻密なルールにしているが、学生たちの知識、独創性、構想力が大いに発揮できるように、安全要件を除いた設計上の制約は必要最小限にしている。

参加資格は、大学院、大学、短大、高専、又は短大相当の専門学校の18歳以上の学生が対象。なお、競技会の7ヵ月前までに卒業した者は参加資格を有する。

### 【主な設計要件】 Design Requirements

- ①タイヤがカウルで覆われてなく、コクピットがオープンなフォーミュラスタイルの車両であること。
- ②4サイクルピストンエンジンで排気量610cc以下。オリジナル設計の過給機の装着は可。  
リストラクター（吸気制限装置）の最大直径は20mm。使用燃料は100RON（リサーチ法オクタン価）の無鉛ガソリンとする。
- ③ホイールベース1525mm以上。トレッドは、フロント又はリアの大きい方に対して75%以上。ホイールは8インチ以上。
- ④排気音量は、排気口から水平面45度、50cmの位置で110dB以下（所定の回転数）。

### 【主な安全要件】 Safety Requirements

- ①横転・正面衝突・側面衝突時にドライバーを保護するために、メインフープ、フロントフープ、フロントバルクヘッドおよびこれらのブレースやサポート、側面衝突保護構造体などについて構造・材料などの詳細を規定。
- ②車両前端からメインフープ又は防火壁の間のドライバー区画に開口部がないこと（コクピット開放部に関して定めることは除く）。
- ③衝突エネルギーを吸収する装置として、フロントバルクヘッドの前にインパクトアッテネータを取り付けることを規定。
- ④ドライバー安全規則として、拘束システム（5又は6点式シートベルト）、保護用具（ヘルメット、スーツ、手袋、シューズなど）、視界、ヘッドレスト、ドライバー脱出時間（5秒以内）、横転限界角度、防火壁、消火器、ドライバーの脚・足の保護等について詳細を規定。
- ⑤ブレーキは4輪すべてに作動し、独立した2系統の液圧回路を有すること。ブレーキの踏みぬけのような事態が発生した時にそれを検知しエンジンを停止させるオーバートラベルスイッチを装備。

### 【主な競技要件】 Competition Requirements

- ①静的競技のうちコストと設計については、所定のコストレポートと設計レポートを大会の約2ヵ月前提出を義務づけ。未提出の場合は、コスト審査は-100ポイント、設計審査は0ポイントとなる。
- ②車検に合格し、車検ステッカーが貼られた車両でなければ、プラクティス走行および動的イベントに参加できない。
- ③動的競技は、一人のドライバーが二つまでの競技を運転することができる。エンデュランスと共に燃費も評価するが、これは一つの競技としてカウントする。一つの競技で4回試技する際は、二人のドライバーが2回ずつ試技する。

# 表彰 Awards

**経済産業大臣賞 (総合優勝)**  
Minister of Economy, Trade and Industry Award

**静岡県知事賞**  
Governor of Shizuoka Prefecture Award  
静的審査、加速性能、スキッドパッド、オートクロス、騒音、燃費、安全、軽量化努力の評点をもとに総合得点

**FISITA賞 (総合優勝)**  
FISITA Award

**総合優秀賞 Spirit of Excellence Award** 【提供:イータス】  
全競技総合得点1~6位 (1位:20 2位:15 3位:10 4位:7 5位:5 6位:3)

**静的優秀賞 Spirit of Static Event Award** 【提供:小野測器】  
静的競技総合得点1~6位 (1位:9 2位:7 3位:5 4位:4 5位:3 6位:2)

**コスト賞 Cost Award** 【提供:共和電業】  
コスト・製造審査の1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**プレゼンテーション賞 Presentation Award** 【提供:東洋ゴム工業】  
プレゼンテーションの1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**デザイン賞 Design Award** 【提供:サイバネットシステム】  
設計審査の1~3位 (1位:10 2位:6 3位:4)

**加速性能賞 Acceleration Award** 【提供:住友ゴム工業】  
加速性能の1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**スキッドパッド賞 Skid-Pad Award** 【提供:横浜ゴム】  
スキッドパッドの1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**オートクロス賞 Autocross Award** 【提供:ブリヂストン】  
オートクロスの1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**省エネ賞 Fuel Economy Award** 【提供:小野測器】  
燃費の1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**耐久走行賞 Endurance Award** 【提供:ソリッドワークス・ジャパン】  
耐久走行の1~3位 (1位:10 2位:6 3位:4)

**日本自動車工業会 会長賞(環境・安全・教育特別賞) JAMA Chairman Award** 【提供:日本自動車工業会】  
設計安全、衝突安全、軽量化努力、燃費、騒音、スポーツマンシップ等の評点をもとに総合得点  
1~6位 (1位:20 2位:15 3位:10 4位:7 5位:5 6位:3)

**ルーキー賞 Rookie Award** 【提供:VSN】  
国内外FSAE大会初参加チームの全競技総合得点1~3位 (1位:10 2位:6 3位:4)

**CAE特別賞 CAE Award** 【提供:日本総研ソリューションズ】  
CAE技術を効果的に活用している1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**ユニークデザイン特別賞 Unique Design Award** 【提供:住友スリーエム】  
設計において工夫・苦心している1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**安全設計特別賞 Safety Design Award** 【提供:共和電業】  
独自の安全設計を採用している1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**グッドフレームデザイン賞 Good Frame Design Award** 【提供:プレス工業】  
優れたフレーム設計の1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**スポーツマンシップ賞 Sportsmanship Award** 【提供:自動車技術会】  
最もスポーツマンシップの評価が高いチーム (1位:5)

**ベストWebサイト賞 Best Web Site Award** 【提供:ウェブアイ】  
優れたチームWebサイトの1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

**ASME Japan賞 ASME Japan Award** 【提供:アメリカ機械学会 日本支部】  
チーム運営が優れたチーム (1位:4)

(注)順位に記載の数値単位:万円

## 特典 1

最上位成績チームは、来年開催予定の2008 FISITA Formula SAE World Cup(\*1)への出場権を獲得します。

(\*1)2008 Formula SAE(2008年5月中旬、アメリカ)で併催予定

## 特典 2

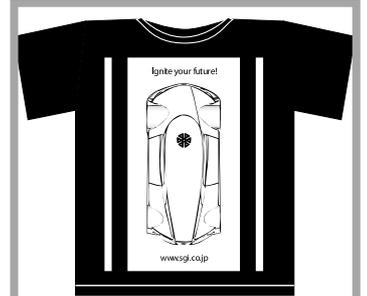
総合成績1位~3位の車両を第40回東京モーターショーに展示。



パステース  
堀場製作所提供



大会Tシャツ  
エイヴィエルジャパン提供



大会Tシャツ  
日本SGI提供



大会Tシャツ  
バックプリント共通

## 協カスポンサー

- 会場: 静岡県 小笠山総合運動公園
- ドリンク: アサヒ飲料
- 重量計: ブリヂストン
- 騒音計測器: 小野測器
- 燃料計測器: 日本大学
- 溶接機器・その他:  
トヨタ自動車東富士研究所  
本田技研工業マイスタークラブ  
ヤマハ発動機  
静岡理科大学

# 参加チーム【車両スペック】

## Team Information (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
1	上智大学 Sophia University	Red	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod with stabilizer	2740 mm 1133 mm 1560 mm 1150 mm 1100 mm	198 kg 46.5:53.5 29 mm	5.5 inch wide, 3 pc Mag Rim 20.5x6-13 R25A Hoosier
2	名古屋大学 Nagoya University	Pure white	Tubular space frame	FRP	Front & Rear : Double unequal length non parallel A-arm push rod with stabilizer	2630 mm 1100 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	230 kg 50:50 45 mm	13inch RAYS TE37 13 x 6.0 20.5 x 6.0 - 13 Hoosier R25A
3	東京電機大学 Tokyo Denki University	Blue	Steel tublar space frame	4130 Chrome Moly tube and High-Tensile Steel tube 0.5 inches to 1 inch diameter	Front & Rear : Double unequal length A-arm. Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	2545 mm 1155.7 mm 1525 mm 1120 mm 1120 mm	170 kg 48:52 45 mm	6"widthes, Al rim, Al machined ctr 20x6.5-13 R065 Goodyear
4	宇都宮大学 Utsunomiya University	Green	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2690 mm 977 mm 1600 mm 1200 mm 1190 mm	210 kg 50:50 40 mm	ENKEI 13inch & BRIDGESTONE 510/130 13
5	立命館大学 Ritsumeikan University	Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2635 mm 1140 mm 1235 mm 1200 mm 1200 mm	235 kg 40:60 55 mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
6	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	Tricolore	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2639 mm 1049 mm 1650 mm 1210 mm 1200 mm	210 kg 45:55 50 mm	13 inches RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
7	東京大学 The University of Tokyo	Metallic blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2710 mm 1085 mm 1680 mm 1200 mm 1200 mm	250 kg 45:55 50 mm	13inch RAYS 20.5x6.0-13 Hoosier
8	国土館大学 Kokushikan University	White / Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2750 mm 1075 mm 1700 mm 1200 mm 1175 mm	225 kg 48:52 50 mm	RS.Watanabe Mag EIGHT SPOKE 20.5 x 6.0-13 R25A Hoosier
9	千葉大学 Chiba University	Black & Orange	Steel spaceframe	Aluminum and GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2790 mm 1095 mm 1700 mm 1250 mm 1250 mm	240 kg 45:55 45.7 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
10	金沢大学 Kanazawa University	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2600 mm 1100 mm 1600 mm 1180 mm 1180 mm	215 kg 45:55 50 mm	13inch RAYS TE37FJ 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
11	横浜国立大学 Yokohama National University	Red & Black	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2600 mm 1060 mm 1650 mm 1250 mm 1220 mm	230 kg 45:55 35 mm	10inch RS watanabe 18.0/6.0-10 Hoosier Bias

車両スペックは、2007年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
2003 YAMAHA YZF-R6 5SL1 600cc 103.5PS/12500rpm 66.1Nm/7500rpm	Naturally Aspirated 6.5L	Manual	FCCTRAC limited slip differential	Front:2 outboard Rear:2 outboard Willwood Dynapro Single Billet Caliper	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Dry sump</li> <li>• Chassis damper</li> <li>• Resonance</li> <li>• Supercharging Collector</li> <li>• Power Valving Exhaust System</li> <li>• Undetray</li> </ul>
PC37E HONDA CBR600RR 604cc 75ps/10000rpm 6.0kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 5.5L	Manual	Chain clutch pack limited slip, 1.5WAY	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	dual injection Diffuser Dry sump LSD
2005 Honda CRF450X single cylinder 498cc 55ps/8000rpm 5.4kgf/5400rpm	Naturally Aspirated 4L	Manual	Zexel Torsen University Special. Custom 7075 Housing	Front:2 outboard, Floating mtg, Cast Iron, Hub mounted, 10.3 inches dia. Rear:1 inboard Floating mtg, Cast Iron, Diff mounted, 8 inches dia.	Single cylinder engine
PC35E HONDA CBR600F4i 599cc 63ps/10500rpm 5.3kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 6.0L	Electric shifter	Chain & Torque sensing Limited Slip Deff	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	stabilizer
kawasaki ZX-6RR 599cc 68ps/12000rpm 4.2kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 10L	Manual	Chain drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	Flat Bottom Flame
PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 77ps/12000rpm 5.5kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 5.5L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Beringer calipers	Digital Meter Mg Uplight
P506 SUZUKI Skywave650 604cc 72ps/6000rpm 8.8kgf/5500rpm	Turbocharged 6.5L	CVT	Chain Spool	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	Electronically controlled CVT Side mounted engine Turbocharger
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 80ps/8500rpm 7.1kgf/6500rpm	Turbocharged 6.7L	Manual	Chain Torsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	Dual Injection System Turbocharger
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 70ps/11000rpm 4.8kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 5.0L	Manual Column shift	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Aluminum Cowl
2005 YAMAHA YZF-R6 599cc no data no data	Turbo charged 7.0L	Manual	Chain drive, Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Dry sump, Turbo charger, Carbon crash-box, Traction Control System, Custom cam shaft
PC37EHonda CBR600RR 599cc 76.1ps/ 11500rpm 5.3kgm /7500rpm	Naturally Aspirated 5L	Electric Actuator	Shaft LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Paddle Shift Shaft Drive

# 参加チーム【車両スペック】

## Team Information (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
12	静岡大学 Shizuoka University	Orange & Green & Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2450 mm 1050 mm 1650 mm 1200 mm 1180 mm	210 kg 46:54 45 mm	13inch RAYS TE37 20.5 x 7.0 -13 R25A Hoosier Bias
13	京都大学 Kyoto University	Dark blue & Black	Aluminum spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	3000 mm 1050 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	220 kg 45:55 50 mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
14	武蔵工業大学 Musashi Institute of Technology	Blue	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length Pull rod	2550 mm 1100 mm 1600 mm 1250 mm 1220 mm	165kg 45:55 50 mm	10inch RS Watanabe Mag EIGHT SPOKE Hoosier ROAD RACING 18.0 x 6.0-10 R25A
15	大阪市立大学 Osaka City University	Orange	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Push rod Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2641 mm 1223 mm 1600 mm 1300 mm 1250 mm	240 kg 45:55 60 mm	13inch Hayashi street 180/510-13 BRIDGESTONE
16	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	Blue	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2310 mm 1170 mm 1600 mm 1100 mm 1100 mm	155 kg 45:55 40 mm	10inch Douglas ATV Wheel 18.0x6.0-10 R25A Hoosier
17	岡山大学 Okayama University	Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	3000 mm 1200 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	240 kg 45:55 50 mm	13inch Keizer ATV 20.5 x 6.0-13 compound R25A Hoosier
18	東京理科大学 Tokyo University of Science	Black & Pink	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm	2726mm 1074mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	225 kg 50:50 40 mm	13inch RS Watanabe 185/50 BRIDGESTONE Bias Slick
19	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	Black / Silver	Front and rear Tubular space frame	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm. Pull rod actuated horizontally oriented spring and damper Rear : Double unequal length A-Arm. Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	2925 mm 1163 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	225 kg 50:50 50 mm	13inch Kayzer 20.0 x 6.0-13 BRIDGESTONE
20	神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology	White & Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2580 mm 1010 mm 1700 mm 1220 mm 1200 mm	205 kg 49:51 35 mm	13inch RS Watanabe 160/515-13 YOKOHAMA Bias
21	首都大学東京 Tokyo Metropolitan University	Blue & Black	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2600 mm 1125 mm 1600 mm 1220 mm 1220 mm	195 kg 50:50 50 mm	13inch WORK 165/55R13 YOKOHAMA ADVAN Radial
22	工学院大学 Kogakuin University	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2770 mm 1085 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	240 kg 50:50 60 mm	13inch RAYS 175/60R13 ADVAN A048

車両スペックは、2007年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
SUZUKI GSX-R600 K4 599cc 86ps/11500rpm 6.3kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 5.0L	Manual &Automatic Electric Shifter ( "SUMtronic")	Shaft & F.C.Ctrack	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	Side-Engine layout&Symmetrical Frame
YAMAHA YZF-R6 600cc 75ps/13000rpm 5kgf/11000rpm	Naturally Aspirated 6.1L	Manual	ChainTorsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard Willwood calipers	Aluminium space frame, cowl made of prepreg material
HONDA CRF450X PE06E 498cc 40ps/9000rpm 4.2kgf/6300rpm	Naturally Aspirated 3.0L	Manual	Chain F.C.C TRAC	Front:2 outboard blembo calipers Rear:2 outboard SUZUKI calipers	Draiver Friendly &honeycomb car seat & WPC- treated Piston
Kawasaki ZX600-N1 599cc 123ps/14000rpm 6.8kgf/12000rpm (from catalog)	Naturally Aspirated 5.5L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard	
J321EYAMAHA WR450F 470cc 42.6ps/8500rpm 3.8kgf/7900rpm	Naturally Aspirated 4.3L	Manual	Chain Drive FCCTRAC	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Light & Compact
Kawasaki ZX-6RR 599cc 75ps/10000rpm 4.8kgf/7500rpm	Turbo-charger 6.5L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Willwood calipers	Original oilpan
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 6L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
PC37EHONDA CBR600RR 600cc 72ps/11000rpm 5.6kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 6.5L	Manual lever/ linkage/ cable	Chain/CuscoLSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
PC35EHONDA CBR600F4i 599cc 79ps/11000rpm 64N Em/8000rpm	Naturally Aspirated 6.6L	Electronic control	Shaft & LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	2 division structures, shaft drive, Start-off- system,Electronic shifter
PE06E HONDA CRF450X 450cc 55.1ps/9000rpm 5.12kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 3.8L	Manual	Chain Torsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 7.5L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	

# 参加チーム【車両スペック】

## Team Information (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
23	近畿大学 (大阪) Kinki University Osaka	Black	Steel spaceframe	G-FRP	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2500 mm 1050 mm 1600 mm 1180 mm 1160 mm	210kg 42:58 40 mm	13inch RAYS Volk Racing & 20×6-13 Hoosier R25A
24	University of Ulsan	Blue & White	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod Fox shocks	2850 mm 1260 mm 1630 mm 1200 mm 1150 mm	235 kg 45:55 55 mm	13inch Volk 170×515R13 kumho tires
25	信州大学 Shinshu University	Orange	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2700 mm 1260 mm 1600 mm 1200 mm 1150 mm	280 kg 40:60 50 mm	13inch 5.5J/110/38 YOKOHAMA ADOVAN A005
26	神戸大学 Kobe University	White	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2850 mm 1200 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	260 kg 45:55 60 mm	13inch 175/60-13 D98J DUNLOP
27	茨城大学 Ibaraki University	White	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2718 mm 1043 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	230 kg 40:60 40 mm	13inch RACING SEARVICE Watanabe 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
28	早稲田大学 Waseda University	Yellow & Red	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2835 mm 1200 mm 1770 mm 1280 mm 1280 mm	245kg 47:53 70mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
29	慶應義塾大学 Keio University	Black	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2480 mm 1120 mm 1525 mm 1144 mm 1144 mm	190 kg 40:60 30 mm	13inch RAYS; VOLK Racing Wheel TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias Slick
30	ホンダテクニカル カレッジ関東 Honda Technical College Kanto	Cham- pionship White	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm ProLink	2250 mm 1025 mm 1545 mm 1190 mm 1190 mm	N/A N/A 50mm	10inch RS- Watanabe 18.0 x6.0 - 10 Hoosier Bias
31	大阪大学 Osaka University	Lime green & Black & Silver	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2600 mm 980 mm 1750 mm 1200 mm 1200 mm	210 kg 46:54 45 mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
32	同志社大学 Doshisha University	Purple & White	Steel spaceframe	Fiber- bamboo	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	3020 mm 1260 mm 1640 mm 1200 mm 1200 mm	240 kg 42:58 50 mm	13inch RSwatanabe 160/515-13 YOKOHAMA
33	大同工業大学 Daido Institute of Technology	Red / Black	Steel spaceframe	Japanese paper on coating	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2655 mm 1080 mm 1535 mm 1200 mm 1250 mm	160kg 43:57 50mm	10inch DOUGLAS ATV 18.0/6.0-10 HOOSIER Baias

車両スペックは、2007年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
EX500 500cc 50ps/6800rpm 4.7kgf/4500rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	DID Chain & Kawasaki KVF400 LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	electric shifter (Student built actuator) & changed Cabrater systems to Fuel Injection systems
HONDA CBR600 F4sports 599cc 85ps/11000rpm 6kgf/8000rpm	Forced induction by turbo-charger 8L	Manual	Shaft viscupling	Front:2 outboard willood calipers Rear:1 inboard willood calipers	turbo-charger titanium arms
PC37EHONDA CBR600RR 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 8.0L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 inboard Rear:2 inboard Nissin calipers	Hi-strength- FRP
KAWASAKI ZX-6RR 600cc 120ps/13200rpm 6.6kgf/12000rpm	Naturally aspirated 6.5L	Manual	LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard	
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	Caseless differential unit Detaching type engine mount Variable pedal unit Actuated hand shift
'05 HONDA CBR600RR 599cc 64ps/9600rpm 4.0kgf/9000rpm	Naturally aspirated 7.0L	6-spd Sequential Manual	ratio : 3.5 FCC Differential	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Cowl Design
PC35EHONDA CBR600F4i 599cc 80ps/12000rpm 5.5kgf/8000rpm	Naturally aspirated 8L	Manual	Chain & Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
PE06E HONDA CRF450 450cc N/A N/A	Naturally aspirated 3.8L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard	EFI Engine
KVF650-A1 609cc 43.8ps/6500rpm 5.4kgf/5000rpm	Naturally aspirated 7.0L	CVT	ShaftTorsen LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard TOKICO calipers	V2 engine with Fuel Injection System, CVT
ZX600RR 599cc 72.1[98.0]/9500(kW[PS]/rpm) 49.0[5.0]/8000(kW[PS]/rpm)	Naturally aspirated 6.5L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard brembo calipers	Fiber-bamboo
J324E YAMAHA WR450F 450cc 60ps/9000rpm 5.4kgf/6500rpm	Naturally aspirated 4.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	electric fuel injection

# 参加チーム【車両スペック】

## Team Information (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
34	静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	Green	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2650 mm 1070 mm 1525 mm 1100 mm 1100mm	200 kg 40:60 60 mm	13inch Super R.A.P 160/515/13
35	名城大学 Meijo university	Silver	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2610 mm 1050 mm 1600 mm 1120 mm 1120mm	180 kg 49:51 50 mm	10inch RS Watanabe Hoosier
36	千葉工業大学 Chiba Institute of Technology	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2750mm 1100mm 1580mm 1200mm 1200mm	180kg 45:55 40 mm	13inch RS Watanabe 180/510-13 BRIDGESTONE
37	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	Blue & White	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2500mm 1170mm 1600mm 1200mm 1200mm	220kg 45:55 40 mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
38	東海大学 Tokai University	Cobalt blue	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double wishboone A-arm Pull rod	2500mm 1050mm 1730mm 1230mm 1230mm	190kg 45:55 50 mm	13inch RAYS TE37 YOKOHAMA 160/515-13 Bias
39	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	Red	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2800 mm 1100 mm 1850 mm 1160 mm 1160mm	280 kg 45:55 60 mm	13inch RAYS VOLKRACING 165/55R13 ADVAN A005
40	明星大学 Meisei University	Black & Red	aluminum honeycomb monocoque with steel rear frame	G-FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2850mm 1050mm 1700mm 1200mm 1200mm	220kg 40:60 40 mm	13inch Racing service Watanabe 21.0 x 6.0-13 180/510 -13 BRIDGESTONE Bias Slick
41	高知工科大学 Kochi University of Technology	Yellow	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2181.9 mm 1020 mm 1750 mm 1200 mm 1200 mm	200 kg 40:60 50 mm	13inch YOKOHAMA
42	福井工業大学 Fukui University of Technology	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2600 mm 1260 mm 1700mm 1210 mm 1200 mm	270 kg 40:60 60 mm	13inch RAYS TE37 175/60R13 DUNLOP FORMULA-R
43	Southern Taiwan University of Technology	Red	Steel spaceframe	Carbon Firbe	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2600 mm 1040 mm 1650 mm 1250 mm 1200 mm	230 kg 47:53 30 mm	13inch Keizer 20*6.5-R13 Hoosier
44	ものづくり大学 Institute of Technologists	Black	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2850 mm 1300 mm 1700 mm 1300 mm 1260 mm	270 kg 45:55 50mm	13inch Rays TE37 165/60R13 DUNLOP DIREZZA

車両スペックは、2007年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
L404 SUZUKI LT-R450 450cc 53ps/8000rpm 4.8kgf/6500rpm	Super chaged 4.5L	Manual	Shaft Drive & Mechanical L.S.D	Front:2 outboard Rear:2 outboard Suzuki ATV calipers	semi active suspention super chaged intake air system
YAMAHA WR450F J321E 449cc 17.2kW/6500rpm 30.8Nm/4000rpm	Naturally aspirated 4.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard	Fuel Injection Electric Shifter
5TJE YAMAHA WR450 450cc 60PS/9000rpm 5.4kgf/6500rpm	Naturally aspirated 4.0L	Manual	Chaindrive F.C.C. TRAC	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	Paddle Shift Mg Alloy Sub Frame
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 70ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 4.5L	Manual	Chain Torsen LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Paddle shift Stabilizer Original steering rack-and-pinion
P507 SUZUKI SV650S 605.9cc N/A N/A	Naturally aspirated 4L	Manual	Chain drive F.C.C. TRAC	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	V-Twin Engine Bore downed
PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 8L	Manual	Chain drive Quaife diff	Front:2 outboard Rear:2 outboard	handbreke
HONDA CBR600RR PC37E 599cc 51[69]/11,500 (kW[PS]/rpm) 51[5.2]/7,500 (N · m[kg · m]/rpm)	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain Drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	aluminum honeycomb monocoque
LT-R450 SUZUKI QuadRacer R450 450cc not found not found	Naturally aspirated 5.5L	Manual	ChainTorsen & Differential	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	long wheel base
PC35EHONDA CBR600RR 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 4.5L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard	
HONDA CBR600F4i 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Univance LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	Monoshocks suspension
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain Drive & Mechanical diff	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	2piece structure

# 参加チーム【車両スペック】

## Team Information (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
45	豊橋技術科学大学 TOYOHASHI UNIVERSITY of TECHNOLOGY	Blue / White / Black	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Pushrod actuated, unequal length, non-parallel Double Wishbone	2420mm 1010mm 1550mm 1200mm 1100mm	209 kg 40:60 30 mm	13inch RAYS Front 20.5 x 6.0 Rear 20.5 x 7.0 Hoosier Bias
46	福井大学 University of Fukui	Orange / Black	Steel spaceframe	Fiber- glass & Aluminum	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2980mm 1088 mm 2000 mm 1350 mm 1350 mm	270 kg 40:60 65 mm	14inch KOSEI 195/60R14 DUNLOP Radial
47	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology Nihon University	White & Red	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2850 mm 1180 mm 1650 mm 1170 mm 1100 mm	250 kg 50:50 50 mm	13inch RAYS 160/55 YOKOHAMA NEOVA
48	岐阜大学 Gifu university	Blue	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2800 mm 1150 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	225 kg 45:55 50 mm	13inch RAYS TE37 Hoosier
49	Yeungnam University	Yellow body & Black frame	Steel spaceframe	Fiber- glass & Aircraft fabric	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2430mm 1014mm 1580mm 1150mm 1100mm	220 kg 45:55 55 mm	6.5inch width VOLK wheel 20*7J*13 R25A HOOSIER
50	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	Red / White	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Aluminum alloy arm Double unequal length Pull rod	2900 mm 1130 mm 1660 mm 1200 mm 1200 mm	300 kg 49:51 50 mm	13 inch Aluminium RAYS TE37 6.0J offset+38 180/510-13 BRIDGESTONE Slick
51	近畿大学工学部 Kinki University School of Engineering	no data	no data	no data	no data	no data	no data	no data
52	成蹊大学 Seikei University	Royal blue & Red	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2650 mm 1240 mm 1600 mm 1350 mm 1350 mm	300 kg 40:60 70 mm	13inch RAYS TE37 180/50VR 13 ADVAN A005 Slick
53	北海道大学 Hokkaido University	Mat Black	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2800 mm 1295 mm 1700 mm 1260 mm 1260 mm	230 kg 30:70 70 mm	10inch Rswatanabe Eightspoke Hoosier radial
54	山梨大学 University of Yamanashi	Wine red & White	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2526 mm 1150 mm 1710 mm 1204 mm 1204 mm	40:60 50 mm	13inch Yokohama Advan Neova AD07 165/60 R13
55	九州産業大学 Kyushu Sangyo University	no data	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	3000 mm 1320 mm 1900 mm 1300 mm 1390 mm	300 kg 30:65 100 mm	14inch 5.5j front:175/60 rear:185/60 BS RE01-R

車両スペックは、2007年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
HONDA PC37E 599cc 70ps / 10500rpm 5.5kgf-m / 8000rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	Chain Spool	Front:2 outboard Rear:1 inboard	Lightweight compact vehicle
Suzuki GSR600K7 599 cc N/A N/A	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain drive & FCCTRAC	Front:2 radial mounted outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Controllable Rear brake
PC35EHONDA CBR600F4i 599cc 72ps/12000rpm 5.0kgf/10000rpm	Naturally aspirated 4.0L	Manual	Chain/ FCC Track	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	
SUZUKI GSR600K6 600cc 72kW/12000rpm 64.7Nm/9600rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain drive LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard	Electrical Shift Floating Rotor
2004 HONDA CBR600F4i 599cc	Naturally aspirated 3L	Mechanical Paddle Shifter	Chain Zexel Torsen	Front:2 outboard Rear:1 inboard Willwood calipers	Blue-Tooth Module
PC35E HONDA CBR600F4i 599cc 51kW/10300min 61.0N · m/7050min	Naturally aspirated 6.0L	Electric actuater shifter	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Aluminum Suspensions
no data	no data	no data	no data	no data	no data
PC40EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 6.6L	Manual	Chain drive, Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard SUZUKI calipers	Wide Cockpit & Track
PC40EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/8500rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain F.C.C.	Front:2 outboard Rear:2 outboard	
HONDA CB400SUPER FOUR 400cc 53PS/11000rpm 3.7kg-m/10000rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain F.C.C. LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	exhaust catalyser system
5Y7 399cc 33PS/7000rpm 3.4kg-m/6000rpm	Naturally aspirated 7L	Manual	Chain Mechanical LSD	2 outboard	Car design

# 参加チーム【車両スペック】

## Team Information (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
56	Kunsan National University	Black & Gray	Steel spaceframe	FRP	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2400 mm 1100 mm 1650 mm 1350 mm 1300 mm	240 kg 44:56 90 mm	13inch Volk TE-37 KUMHO Tires 170/515-13
57	秋田県立大学 Akita Prefectural University	Black & Orange & Gray	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2760 mm 1080 mm 1600 mm 1220 mm 1210 mm	270 kg 50:50 75 mm	13inch ENKEI 180/510-13 BRIDGESTONE Bias Slick
58	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2800 mm 1100 mm 1600 mm 1150 mm 1100 mm	210 kg 50:50 50 mm	10inch SUZUKI ATV 165/70-R10 YOKOHAMA Bias
59	大阪産業大学 Osaka Sangyo University	no data	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2702 mm 1034 mm 1610 mm 1200 mm 1200 mm	250 kg 40:60 60 mm	13inch RAYS TE37 160/55-13 ADVAN A005
60	久留米工業大学 Kurume Insititute of Technology	White navyblue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double equal length A-arm Push rod	2600mm 1165mm 1650mm 1220mm 1230mm	210 kg 49:51 50 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE bias
61	ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai	Black	Steel spaceframe	CFRP	Front : Double unequal length and unparallel A-arm Pull rod Rear : Double unequal length and unparallel A-arm Push rod	2850 mm 1050 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	200 kg 42:58 40 mm	13inch RAYS 160/515-13 YOKOHAMA Bias

車両スペックは、2007年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Pump 6.5L	Manual	Shaft HONDA TRX350 diff	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Variable Intake System
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Dry sump Single rear brake
SUZUKI LT-R450 450cc 40ps/9000rpm 4.0kgf/6500rpm	Naturally aspirated 7.5L	Manual	Chain FCC	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	
KAWASAKI ZX600PE 599cc 125ps/14000rpm 6.7kgf/11700rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Willwood calipers	Hand Shifter
LT-R450 SUZUKI Quad RACER R450 450cc 47ps/8500rpm 4.5kgf/7500rpm	Naturally aspirated 5.5L	Manual	Chain drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.1kgf/7500rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain LSD FCC	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	Tructon control Dry sump

# 参加チーム【チームメンバーとスポンサー】

## Team Information (members and sponsors)

### 1 上智大学

Sophia University

#### ■メンバー

(CP)泉隼太, 浅井崇, 伊藤真, 矢野博之, 伊藤大輔, 小田隆隆, 藤倉恭平, 小室香菜子, 高山有美子, 山根敬之, 前田翔平, 新谷ブルーノ坂野, 小野泰志, 池澤圭, 廣瀬真希, 門倉草太, 増谷亮, 藤 昱東, 関塚紘子, 若林充, 山本浩敬, 安彰柱, 小瀧恵里菜, 柴崎正也, 武田洋平, (FA)鈴木隆



#### ■車の特徴とチームの抱負

今年度チーム目標は日本大会2連覇です。車両は軽量化・低重心・高品質を基本コンセプトに、空力解析など新しい技術とこれまで積み重ねてきた経験が融合され、世界トップレベルの車両が実現しました。

#### ■スポンサー

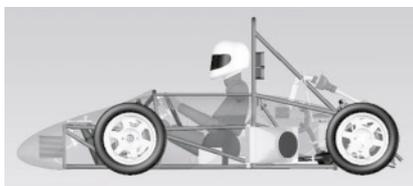
ヤマハ発動機, プリチストン, 日本キスラー, 日本精機, 日産ディーゼル, インテリジェンス, 岡島パイプ製作所, ベステックス, アールケー・エキセル, ミヤコ自動車, コンティネンタル・テーベス, 大和製機エムエスシーソフトウェア, 東邦テナックス, 日信工業, フルーエント・アジアパシフィック, 東京アールアンドデー, NTN, 東北ラチエーター, ジーエーティー 藤壺技研工業, エフ・シー・シー, 横河電機, 古河スカイ, AVO/MoTeC Japan, ニチリン, 東洋ゴム, ダイナテック PTCジャパン, THK, ケイ・ジー・ティー, ベアレーシング, 茂原ツインサーキット, 繁富工務店

### 2 名古屋大学

Nagoya University

#### ■メンバー

(CP)小松新始, 今井俊幾, 西田円, 松浦友紀, 埴原昭信, 横山真資, 神谷尚嗣, 久保田康平, 伊藤拓哉, 大野高明, 高谷亮太, 中原弘貴, 西條元大, 浅田祐介, 高橋愛, 飯塚伸介, 富田直哉, 秋山友彦, 小野邦宏, 鹿野高瑛, 西本雄俊, 梁矢貴之, 鈴木秀明, 長谷川直紀, 渡辺智昭, 中村直寛, 二木浩之, 高井康勢, 足土広祐, 佐々木健雄, 杉浦右将, 光安浩, 栗山公平, 鈴木創介, (FA)大日方五郎



#### ■車の特徴とチームの抱負

私たち名古屋大学フォーミュラチームFEMはレーシングカーコンストラクターとして、信頼性を軸としたホンモノの車を製作することで、ユーザーに新たな提案を行っていき、既存のものにとって変わることのできる新しい嗜好を創造することを目標とします。

#### ■スポンサー

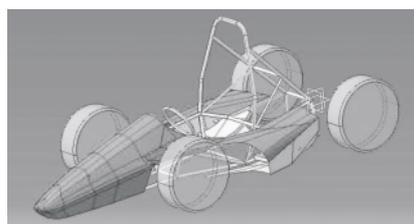
A&F, ACTIVE, ATS,BITO R&D, Dailey Engineering FORMEL LIEVEN, NTN, SolidWorks-Japan, アイシンAW, ウメオカ, エムエスシーソフトウェア, キノクニエンタープライズ, キャリオ技研, キャリオ商事, コーザイ, サイバネットシステム, タカタ, テクノイル・ジャポン K.K., ハイレックスコーポレーション, ファーストモールドィング, ホンダドリム名古屋西, マキタ, ミノルインターナショナル, モリワキエンジニアリング, 岡島パイプ, 加藤カム技研, 加藤ギヤー製作所, 興和工業所, 光生アルミニウム, 幸田サーキットypr桐山, 江沼チエン製作所, 笹野商店, 昭和飛行機工業, 中央発條, 中部日本自動車学校, 東海ゴム工業, 藤本サービス, 日信工業, 日鉄鋼管, 日比野化学工業, 日本トムソン, 日本軽金属, 日本研紙, 交線コム, 本田技研工業

### 3 東京電機大学

Tokyo Denki University

#### ■メンバー

(CP)伊藤優歩, 石山達也, 永井利治, 藤田尚之, 平口貴之, 上野航, 庄司智和, 高岡泰生, (FA)小平和仙



#### ■車の特徴とチームの抱負

車の特徴：単気筒エンジンを搭載した小型・軽量の車両。

チームの抱負：打倒RIMIT!

#### ■スポンサー

アールケー・エキセル, アトック, アクティブカートクラブフェスティカ, 安藤歯車製作所, 井上ボーリング, 内野製作所, エーシーエム, エス・ピー・エスアンブラコ, N T N, MSC SOFTWARE, オージーケーカプト, オーロラベアリング, 岡島パイプ製作所, カツクワークス, 関東工業, 国見コマース, 黒澤化工, ケーヒン, 興研, サイアン, 埼玉車体, 埼玉スチロール, ジュニアモーターパーククイック羽生, 昭和飛行機工業, 新星機工, 新東工業, スチールセンター, スリオジャパン, 精工社製作所, ゼネラル精工, セメダイン, ソフトブレイン工業, タイホーコーザイ, ダッソー・システムズ, 寺田, 電通国際情報サービス, 東日製作所, 東邦工機製作所, 所沢軽合金, 中川ケミカル, 中里歯車工業, 中島工業, 中村鉄工, 鍋テクノロジー研究所, 日信工業, 日本通運, 日本カーボン, 日本機械工業, 日本特殊陶業, 日本パーカライジング, ハイレックスコーポレーション, 富士電機機器制御, 富士電機ホールディングス, プリバード, プロジェクション, ホンダカーズ埼玉, 本田技研工業, 丸一ゴム工業, ミスミ, ミツバ, ムーンクラフト, モリワキエンジニアリング, 柳下技研, 矢口製作所, 横河デジタルコンピュータ, レインボーモータースクール, レーシングブラザメッカ, YKトランスレーション, 和光ケミカル

### 4 宇都宮大学

Utsunomiya University

#### ■メンバー

(CP)大岡周平, 村上浩康, 東洋平, 覺幸知輝, 佐藤研斗, 瓦井寛人, 遠藤充, 服部和史, (FA)杉山均



#### ■車の特徴とチームの抱負

多くの人を魅了するマシンを目指し「GLAMOROUS」を掲げ、これまでの電動シフター、パドルクラッチなど最適化されたドライバビリティはそのままに、軽量化とエンジン出力の向上に力を入れた。UUFDは多くのスポンサーの方々を支えられながら、チーム丸総合優勝を目指します!

#### ■スポンサー

浅野, 井頭モーターパーク, インフェック, 白井国際産業, エンケイ, NTN, F.C.C, 岡モータース, オートデスク, 小山ガレージ, カルソニックカンセイ, グッドリッチジャパンリミテッド, ケーヒン, サイバネットシステム, ショーワ, スズキ, 武蔵野スリーボンド, ソリッドワークス・ジャパン, 第一電子工業, 大同工業, ツインリンクもてぎ, THK, TSRもてぎ, 東興ラチェーター, 栃木県産業技術大学校, 日信工業, 日本ケーブル・システム, 日本トムソン, 日本発条株式会社, 日本プレーテック, 花塚製作所, 日高精機, フィアロコーポレーション, 富士重工, 不二製作所, 富士精密, プリチストン, プロト, モリメ, 本田技研工業, 本田技術研究所, 三菱ふそうトラックバス, レーシングガレージアズ, 和光ケミカル

### 5 立命館大学

Ritsumeikan University

#### ■メンバー

(CP)井上和輝, 今村悠樹, 粕井翔, 望田修也, 伊丹暢彬, 荒巻雄一, 那須健一, 武田和隆, 谷口幸佑, 葉山洋平, 松下貴大, 山東大輔, 阿部泰友, 小管竜太, 本田啓太, 林貴大, 福地聡, 小林将紀, 松波英駿, 湯元彦彰, 平木伴典, 芝山博紀, 遠藤祐介, 川本竜平, (FA)日下貴之



#### ■車の特徴とチームの抱負

RF-004は昨年度車両RF-003の速さに加え、ドライバーの安全を確保するための装備を追加、速さと安全性の両立をした車両となりました。目標はもちろん総合優勝。カーナンバーに恥じない走りを見せます。

■スポンサー

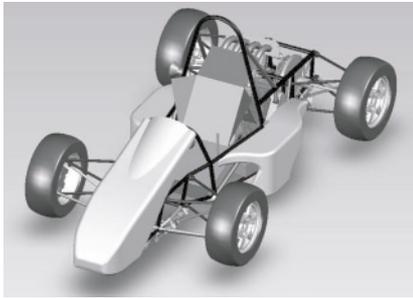
川崎重工業, 琵琶湖スポーツランド, プリチストン, ダイハツ工業, Solid Works Japan, ケミテック

6 日本大学理工学部

College of Science and Technology, Nihon-University

■メンバー

(CP)山崎祥史, 大友拓也, 香田俊太郎, 坂井貴行, 坂井良平, 局拓紀, 八代渉, 山本愛, 油井大地, 清水直樹, 清水勇岐, 田中祥喬, 増子拓哉, 松崎俊宏, 丸山淳一, 宮田泳司, 浜崎真吾, 堀江佳佑, 増井翔太, 安井裕貴, (FA)堀内伸一郎



■車の特徴とチームの抱負

車両の動きを感じて、体の一部のように操作できるマシンを目的に設計しました。

このNU-CST/005で5回目の大会に挑戦し、優勝を目指します。

■スポンサー

プリチストン, 分光計器, 大同メタル工業, デビルテクニカ, エフ・シー・シー, 日立ピアエンジニアリング, 小原歯車工業, 本田技研工業, 城南キー, 関西ペイント販売, 小山, MINATO, ミノルインターナショナル, 中野科学, 日本大学理工学部機械工学科, 日本大学理工学部工作技術センター, NHKニッパツ, 日産自動車, NTN, RAYS, 三協立山アルミ, ショーワ, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークス・ジャパン, スズキ, 田畑ラヂエーター, 太洋, 和光ケミカル

7 東京大学

The University of Tokyo

■メンバー

(CP)秋元健太郎, 海藤広峻, 久保雅俊, 小原英明, 菊池篤徳, 笹井健史, 水野朗, 岩崎成記, 岡本拓之, 小松大河, 五月女真大, 堀内裕明, 安原清英, 恩田祐輔, 川合潤, 後藤健太郎, 澤田武男, 白井拓磨, 中島亮, 久米絢佳, (FA)草加浩平



■車の特徴とチームの抱負

ターボチャージャー搭載2年目、さらにセッティングを煮詰めました。今年度は軽量化と出力向上に力を注いでいます。ターボ+CVTのパッケージで優勝を狙います。

■スポンサー

アールケー・エキセル, NTN, エンジニア, エンパイヤ自動車, 加藤カム技研, キノクニエンタープライズ, 協和工業, 神戸製鋼所, サイバネットシステム, 三恵工業所, 三共, GKNドライブシャフト, シーディー・アダプコ・ジャパン, ジュニアモーターパーク, クイック羽生, 昭和電工, シリコンセンシングシステムズジャパン, スズキ, スズキスポーツ, ゼロススポーツ, ダウ化工, THK, 東亜ディーケーケー, 東都化成, ナオックス, ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル, 日東紡績, 日本ヴェーテック, 日本ユテック, 日置電機, 日立金属, BASFコーティングスジャパン, ファーストモールドディング, 不二WPC, フジクラ, プリッツ, 丸一鋼管, ミスミ, 水戸工業, ムトーエンジニアリング, メイラ, ヤマテ工業, ヤマハ発動機, UGS PLM ソリューションズ, ヨシムラジャパン, 依田ラリーイング, ロックファスナー, 和光ケミカル, AVO MoTec Japan, オリジナルボックス, 関東工業自動車大学校, SiFo, テクニカルプロショップ 単車屋, 東京工科大学自動車大学校, 世田谷校, 東京大学生産技術研究所 試作工場

8 国士舘大学

Kokushikan University

■メンバー

(CP)小田博之, 金子博貴, 古御堂尚雅, 山元脩平, 川村敦, 加藤正祥, 伊東寿仁, 大橋剛, 大比良優介, 松本信也, 松本祥, (FA)児玉知明



■車の特徴とチームの抱負

「KU-006」では、コース走行での速さを追求するために過給器の搭載、フレームおよびサスペンションアームの材質変更を行いました。チームの力をすべて発揮し、2007年の総合優勝に挑みます！

■スポンサー

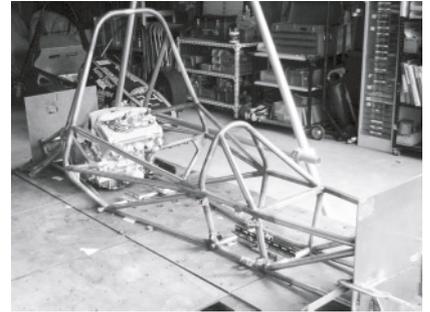
アールケー・エキセル, AVO/MoTeC Japan, エムエスシーソフトウェア, エムズファクトリー, カルソニックカンセイ, GOODRIDGE(JAPAN), ケーヒン, シティカート, ソリッドワークス・ジャパン, ターボテクノエンジニアリング, 竹内化成, 中央発條, デイトナ, ティラド, 東洋エレメント工業, 日発精密工業, 日本キスラー, 水戸工業, 日立製作所オートモーティブシステムグループ, フルーエント・アジアパシフィック, VSN, 本田技研工業, ミノルインターナショナル, 柳下技研, やまと興業, リバースチール(鋼管部), レーシングサービスワタナベ, 和光ケミカル

9 千葉大学

Chiba University

■メンバー

(CP)福田雄太, 古知直人, 湯浅康治, 柏崎大, 松崎哲, 水越耕太郎, 榎大地, 満野亮, 萩原俊輔, 菅井洋, 小澤周平, 市川龍, 佐藤陽, 加賀城宏毅, 渡辺直人, 永吉将人, 田辺真之, 鈴木亮, 林夢愛子, 清水貴悠, 小林佳那子, 山下匠, 河野辺和典, (FA)森吉泰生



■車の特徴とチームの抱負

今年は昨年から正常進化を図り、ドライバーにとって最も操縦しやすいマシンに仕上げました。メンバー全員の想いをこのマシンに込めて、第5回大会優勝を目指します。

■スポンサー

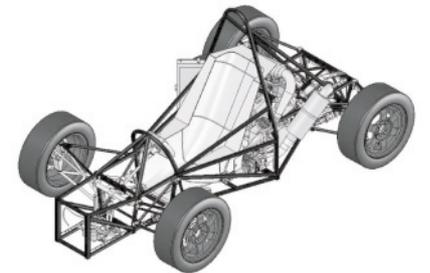
本田技研工業, 日本精工, プリチストン, ソリッドワークスジャパン, サイバネットシステム, NTN, 日信工業, 芝葉会, レイズ, 興和製作所, キャロッセ, 出光興産, 葵不動産

10 金沢大学

Kanazawa University

■メンバー

(CP)大竹啓介, 木村徹, 齋藤浩一郎, 杉浦達矢, 塚野孝俊, 佐藤航, 五十嵐佳介, 岩崎真人, 小松祝, 佐田裕介, 林慧太郎, 広瀬利次, 福井龍也, 池田洋平, 太田竜司, 菊地威彦, 北山智史, 小林琢央, 渋谷康祐, 西岡高将, 丹羽康人, 坂野敏信, 細川康二, 宮川忍, 宮本訓兄, 李大拓也, 安井潤一郎, 山下拓真, 今村太郎, 石田陽一, 石田陽太, ウビョウ, 大葉裕人, 加藤千博, 川崎淳志, 川地洋史, 紅林哲明, 坂野亮, 竹内隆介, 寺本幸司, 永宮翔吾, 中山裕隆, 南部朋子, 町田絢香 (FA)榎本啓士



■車の特徴とチームの抱負

慣性モーメントの低減と低重心化を突き詰めたレイアウトに新しいデバイスを積極的に投入し、高いレベルの車輛に仕上げました。車輛と共に成長したチームで再びボディウムの頂点を掴みます。

# 参加チーム【チームメンバーとスポンサー】

## Team Information (members and sponsors)

### ■スポンサー

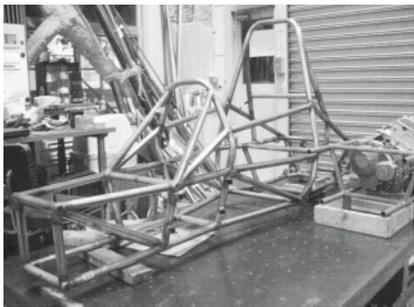
ヤマハ発動機,高松機械工業,古河スカイ,タカスサーキット,北國新聞,NTN,愛三工業,石原金属化工,出光興産,宇野酸素,ヴァンワークス,SP忠男,江沼チエン製作所,エムエスシーソフトウェア,オーエスジ,大浦解体,岡島パイプ製作所,加藤カム技研,カドコーポレーション,金沢工業会,金沢大学,金沢大学技術支援センター,金沢大学工学部,きなり司法・行政書士事務所,キノクニエンタープライズ,木下製作所,草島ラジエーター工業所,ケインズパフォーマンスエンジニアリング,小松鋼機,SUNSTAR,三洋化成,ジーエス・ユアサバッテリー,GAT,スズキ,鈴木工芸社,セントラル硝子,ソリッドワークス・ジャパン,Dynojet北陸,大洋,谷田合金,茶谷鉄工所,テクノマックス,データダイナミクス,電通国際情報サービス,東京測器研究所,東罐マテリアル・テクノロジー,東日製作所,轟産業,ナオックス,ニシムラジグ,ニッソーサービス,日信工業,日平トヤマ,日本データシステム,日本特殊陶業,日本ペイント,ノルトロックジャパン,BIKEROUTE,芳賀木型金型製作所,馬場化学工業,ハネウェルジャパン,阪神ネジ,プリチストン,プレニー技研,日向製作所,プラスミュー,プロト,ホクショー商事,ボッシュ,マツダレンタリース,ミスミグループ,三菱電機,モータースペースMRプロジェクト,森田工業,レイズ,ロックファスナー,和光ケミカル,石川工業高等専門学校

## 11 横浜国立大学

Yokohama National University

### ■メンバー

(CP)山田考浩,盛合健,篤幸太郎,北田健,山田考浩,国実曜弘,木下芳人,友岡諒介,曾根竜介,村山達也,宮原優,阪井啓介,澤井泰,渡邊和人,荒木光,中西真崇,菊岡裕也,荒深和志,國分乾太,佐々木太雅,道上俊,矢田宏樹,佐藤恭一,和田大志,市村正明,松本栄志,(FA)佐藤恭一



### ■車の特徴とチームの抱負

今年ドライバーが簡単に自在に操れ、それによってすぐに乗りこなせるマシンを目指し、開発しました。このマシンで過去2年果たすことのできなかった優勝を目指します！

### ■スポンサー

dSPACE JAPAN,MOTUL (テクノイル・ジャパン K.K.),NTN,S-GRID,エヌ・エム・ビー販売,エムエスソフトウェア,オートデスク,ショーウ,小原歯車工業,サイバネットシステム,ジュニアモーターパーククイック羽生,新星機工,スーパーオートバックス横浜みなとみらいソリッドワークス・ジャパン,田畑ラチエーター,ダイナテック,東京オールアンドデー,東日エアトルク販売,東日製作所,とくきん,富士精密,プロト,トップラインプロダクト,トルンプ,

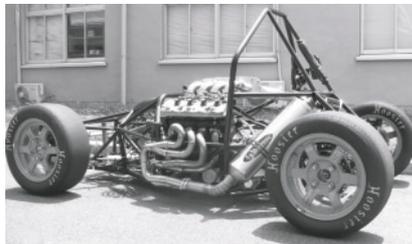
日信工業,日本精工,日本発条,本田技研工業,アートディレクト,レーシングサービスワタナベ,ワークショップ・イーター

## 12 静岡大学

Shizuoka University

### ■メンバー

(CP)穴井一也,福原久雄,江藤大希,井口拓,青山松一郎,浅井亮輔,飯塚啓,小宮山和希,大力崇弘,原木良輔,藤森光明,山口健太郎,鶴飼和将,浜崎佑樹,野々村知美,岡田展大,笹澤雅志,野場圭佑,斎藤勇樹,安原常雄,市川玄人,(FA)福田宏充



### ■車の特徴とチームの抱負

テーマは「オレンジモンスター」。昨年からのアクセラ3.6秒の加速力に加え、今年左右対称フレームでさらなる軽量高剛性化を実現しました。開発中の新技術で動的・静的ともサイドエンジンでの勝利にこだわります。

### ■スポンサー

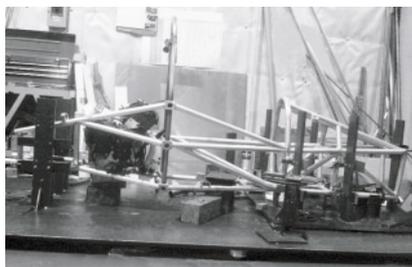
スズキ,スズキスポーツ,マルイチ,レイズ,NMB販売,NTN,東日製作所,古河スカイ,戸塚綜業,川柳商店,和光ケミカル,サイバネットシステム,ソリッドワークスジャパン,デイトナ,モーターパーク・クイック,NRS,JFEスチール,ダウ化工,ユタカ技研,シーディ・アダプコ・ジャパン,Hoosier,ミソノイサイクル,アクティブ,ヘンケルジャパン,ニッソーサービス,コンチネンタルテベス,ユーエス

## 13 京都大学

Kyoto University

### ■メンバー

(CP)堀内亮,山本亮,村田雄一,濱田暁,弘栄介,上田智史,正富祐貴,今荘和也,高橋祐城,高家理気,原園泰信,佐々木正法,名和亮輔,似吹大,今井貴史,國村大喜,田浦剛,初鹿野雄也,伊藤康輔,田力誠也,埴淵千誉,岩崎秀保,小田浩平,鍛冶本昌孝,釜江典裕,高橋円,塚本翔太,常松真也,中川渉,吉田和希,藤井一穂,青木翔吾,鯨岡絵理,河藤由佳,田口紘子,海平和,川村誠,熊野友樹,河野良明,高橋忠将,丹下翔太,中澤知哉,大橋啓生,余田拓矢,(FA)横小路泰義



### ■車の特徴とチームの抱負

コンセプトは「セルフクリエイト」。高い基本性能を備えつつ、ユーザーがセッティングを容易に行える車両を目指しました。京大の特色であるアルミフレームやプリブレグ製カウルもさらに進化させ、今年入賞を目指します。

### ■スポンサー

森精機製作所,ヤマハ発動機,住友電装,エボルブ,ジェイテクト,住友電気工業,神戸製鋼所,古河スカイ,デンソー,NTN,川崎重工,テクノロジードイック,アジストバルール,京都医療器械サービスセンター,ヤマハマリ,ヤンマー,東邦シートフレーム,井尾製作所,ウミヒラ,サンオートプロジェクト,東日製作所,テクノイルジャパンKK・FUKUDA,サイバネットシステム,ソリッドワークス・ジャパン,コンテック・ラボ,Enterprise-Y,富士電機ホールディングス,速水橋正齒科,山岸本舗,エフ・シー・シー,プリチストン,マツダ商会

## 14 武蔵工業大学

Musashi Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)高橋弘治,田代尊久,辛島亮之,倉部陽平,春川祐介,土屋真吾,高橋豊明,安藤靖浩,増田好晃,近藤巨,佐々木透,佐々木光,橋本紘樹,木村聖見,小林聖太,原克幸,加藤哲也,岡島学,(FA)三原雄司



### ■車の特徴とチームの抱負

今年度車両M2007は昨年同様ドライバーフレンドリーをコンセプトにした車両です。今年動的性能向上を狙い、単気筒の弱点であるパワーとコーナリングスピードのアップを計りました。優勝目指してがんばります。

### ■スポンサー

イワモト,帝国ピストンリング,恭和,TOKYO R&D,東日製作所,本田技研工業,スズキ,ソリッドワークスジャパン,サイバネットシステム,富士精密,日産自動車,リトルガレージ,カストロール,住鋳潤滑剤,東京都立科学技術高校,レーシングサービスワタナベ,NTN,日本ユピカ,永田製作所,寺田製作所,協和興材,東急自動車学校,東急自動車整備専門学校,エフシーシー,パイオラックス,帝都ゴム,古河電池,クイック羽生,ラフアンドロードモーターサイクルズ川崎店,アネブル,三井生命,トガシエンジニアリング,小山ガレージ,プレボジャパン,日産ディーゼル工業,桑原インターナショナル,日新鋼管,不二製作所,D.I.D.,ハイレックスコーポレーション,ソケットセンター,森清化工,本多プラス,小原歯車工業,井上ポーリング,日本軽金属,ITM

## 15 大阪市立大学

Osaka City University

### ■メンバー

(CP)高岡誠人,徳丸準,柴田雅史,西村真悟,(FA)川合忠雄



### ■車の特徴とチームの抱負

入門用フォーミュラカーをコンセプトとし, "正常進化" を掲げたマシンを携えて大会に臨みます。なかなか思うようには行きませんが, 逆境を跳ね返して上位入賞を目指します。

### ■スポンサー

RSタイチ,HKS関西,エービーシー商会,NTN,川崎重工業,キャストム,ケーヒン,Co-Alition,KONG's,コノエ,堺カートランド,堺レーシング,サンスター技研,昭和高分子,スエカゲツール,SPEED SHOP JIRO,ソリッドワークス・ジャパン,D.I.D.,タイガー製作所,ダイハツ工業,ダイヘン,タンガロイ,中道工作所,日東紡績,野口商会,日本ビート工業,浜田,プリチストーン,プロト,ポッシュ,和光ケミカル,エフ・シー・シー,アルミネ,大東ラジエータ,キーパー,ネリキガス,富士精密,徳島カム

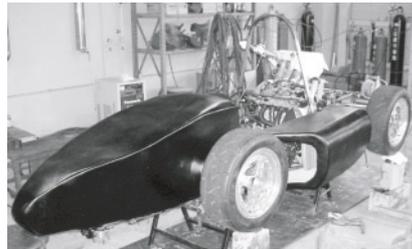
国華商会,サクラ工業,信濃機販,シングルハート,シンボリ,積水化成工業,ソフトウェアクレイドル,ソリッド・ワークスジャパン,大進ステンレス工業,大同メタル工業,ダイヘン溶接メカトロシステム,タカツ製作所,中央発條,ツゲプロセス,デイトナ,テロソソコーポレーション,巴会,名古屋工業会,成田製作所,日進鋼管,日東紡績,ねこのじてんしゃ屋さん,古川スカイ,プロト,ミクニ,LIDO美浜サーキット,名東歯車,ヤマハ発動機

## 17 岡山大学

Okayama University

### ■メンバー

(CP)北條明,門脇拓也,北山直嗣,青田寿大,上田篤史,上野雅裕,内海雄介,大浦佑介,家守進,小島徹也,鳥越正浩,藤谷宇,峯田陽介,望月洋佑,森岡健太郎,木村隆弘,片岡伸太,丸丸裕美,河田良介,小林ミカ,高橋直也,(FA)河原伸幸

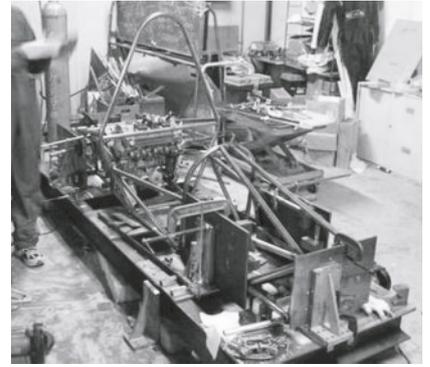


### ■車の特徴とチームの抱負

「Over The Top」をコンセプトとして, 高出力・高剛性・高信頼性の3つの要素を持った車体を製作しました。多くの挑戦を持ったこの車体で, 前回大会振るわなかった動的種目のポイントアップを狙います

### ■スポンサー

内山工業,NTN,,F.C.C,岡山科学技術専門学校,岡山国際サーキット,オスコ産業,川崎重工業,倉敷化工,山陽レジン工業,ソリッドワークス・ジャパン,JFEスチール株式会社西日本製鉄所,滝澤鉄工所,D.I.D,テイクオフ,東京R&D,東京濾器,トーホー,DOWAテクノエンジ,トヨタテクニカルディベロップメント,日進機械,倉敷化工,日本キスラー,日本レンタカー,福島化工,フジックス,三菱自動車工業水島製作所,ライドオン岡山,岡山大学工学部



### ■車の特徴とチームの抱負

TFR003は, 「BASIC」な構造を目指して開発されました。昨年と同じくレーシングカーの基本である軽量・低重心・低慣性モーメントさらに整備性にも重きを置きました。今期チームの抱負は全種目完走です。

### ■スポンサー

エムエフマツモト,ケーヒン,スズキ自販東京,三恵技研工業,TSR,ハイレックスコーポレーション,本田技研工業,昭立製作所,渡辺工業,NTN,エフ・シー・シー,片瀬製作所,エムエスシーソフトウェア,キーパー,グッドリッジジャパン,東京R&D,ユタカ技研,RSワタナベ,日産スプリング,日信工業,横浜ゴム,栄鋼管,コバックス,タカツ製作所,はけ屋,公進ケミカル,昭和高分子,ダウ化工,日新レジン,日邦産業,日本グラフィートファイバー,湯浅レジン工業,スポーツカーズ,クイック羽生,サイバネットシステム,サンウェーブ工業,シティーカート,ソリッドワークス・ジャパン,日本ペイント,ニッポンレンタカーサービス(初石店),福興商事,日産自動車,プリジストン,昭和飛行機,興和製作所

## 16 名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)丹羽隆彦,猪股祐介,高木竜路,天野雄介,上田梓,浦田倫央,大河内一輝,高野浩平,西中健一郎,吉田秀之,和田健,石川正芳,吉良祥一,杉本大樹,田中梨絵,知野見啓太,野村円香,畑中祥吾,山本曉文,伊藤晃一,祖父江宏祐,中島康治,中田陽介,山田英一郎,吉川正人,(FA)北村憲彦



### ■車の特徴とチームの抱負

"Quality for your Driving" をコンセプトに, 走行性能を第一に考えた車輛造りを行いました。確固たる理論に基づいて造り上げた車両で, 上位入賞を狙います。

### ■スポンサー

アルケー・エキセル,青山製作所,出光興産,今村工業,岩倉ラチエター,NTN,エフ・シー・シー,エムエスシーソフトウェア,岡島パイプ製作所,沖センサデバイス,加藤ギヤー製作所,共和電業,クラウン自動車学校,K-oneカーライフレビューション,

## 18 東京理科大学

Tokyo University of Science

### ■メンバー

(CP)竹野元貴,石井聡,篠崎智正,今川聖,石黒達也,石野浩太郎,高木健児,加藤大,岡和田繁,瀬川太郎,八須真也,金子潤哉,天野陽子,北野博子,中村晃,上田啓,大玉千香子,茂木太郎,関諒介,松下晋一,竹中健太,松平久憲,鈴木貴広,五十部恭平,中谷健志,寒川佳祐,菅原敬,上之原康弘,米田公平,宮崎剛行,(FA)野口昭治

## 19 芝浦工業大学

Shibaura Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)谷山隼,伊藤憲悟,山口純,佛淵裕基,植村卓範,林建太郎,糸井祐太,橋本陽亮,吉澤徹,高橋秀生,佐藤健一,佐藤雄輔,市川哲也,佐藤彦彦,今井謙太郎,佐藤弘次,細井雅規,香取裕人,小田元,本間勝治,堀口賢一,小川直人,古川広太,山岡邦彦,(FA)岡村宏



### ■車の特徴とチームの抱負

前回大会でのエンデュランス競技タイヤの苦い経験から信頼性・品質向上に全力を尽くしました。その結果, 信頼性と品質だけでなく, 性能向上も実現することができました。この車両でリベンジを果たします。

# 参加チーム【チームメンバーとスポンサー】

## Team Information (members and sponsors)

### ■スポンサー

アールケーエキセル, 秋山製作所, アルファ, アローレーシングサービス, 井頭モーターパーク, 牛久製作所, ウメオカ, エスピーエアー, エッチ・ケー・エス, NTN, エヌテック, エムエスシーソフトウェア, エム技研工業, 遠藤木型, 押坂工業, キャロッセ, 協栄産業, クイック羽生, ケーアール工業, ケーヒン, 小林機工, 小林技工, サイバネットシステム三晃製作所, ジーエーティー, ソフトウェアクレイドル, タイヤ館T5岩槻, 太陽ステンレススプリング, 大楨精機, 東京R&D, 東京チタニウム, 津留崎製作所, 特殊技研, 所沢軽合金, 東洋測器, 中島工機, 日産ディーゼル, 日新鋼管, 日信工業, 日本軽金属, ハイレックスコーポレーション, プリチストン, フィアロ, プリテック, 本田技研工業, 三菱ふそうトラック・バス, ミノルインターナショナル, 柳下技研, 山下ゴム, 横河工事, ライコランド埼玉, リョービ, レイズ, 和光, 和光ケミカル, ファクトリー-I, T, O

## 20 神奈川工科大学

Kanagawa Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)宮崎達也, 市川紘基, 角本優, 村上奨弥, 伊藤裕介, 江夏康仁, 森下倫太郎, 秋月信也, 櫻井諒, 古川達也, 伊藤学, 小菅陽平, 田阪晃一, 柏木章, 古市大典, 加藤祐也, (FA)加藤俊二



### ■車の特徴とチームの抱負

初代車両「K-001」から引き継ぐ、エンジン縦置き、シャフト駆動を継承。各パーツ更なる軽量化、3分割構造から2分割構造にすることにより過去最軽量を達成。第1回大会からの目標である、総合優勝を今年こそ達成する。

### ■スポンサー

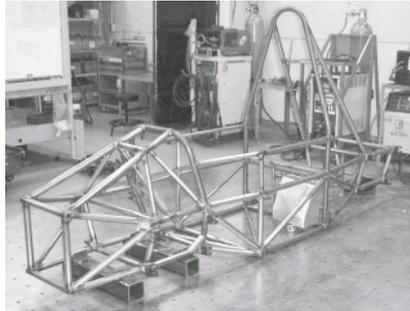
AVANT-GARDE SPORTS, A&M貿易, GARAGE Horino, NTN, 石原金属化工, インテグラル, 大井松田カートランド, かつま鋼管, 神奈川工科大学, 神奈川工科大学Formula SAE●OB会一同, 川崎重工業, 協和興材, 相模湖ピクニックランド, 新星機工, ジーエーティー, ダイナテック, 東日製作所, 日本軽金属, ビックライダー, 賈角ギヤー, 本田技研工業, 横浜ゴム, ヨシムラジャパン, レーシングサービスワタナベ

## 21 首都大学東京

Tokyo Metropolitan University

### ■メンバー

(CP)鈴木智晴, 江連悠介, 神田達成, 吉岡光一, 西村渉, 植村隆太郎, 海野孝祐, 福島佑輔, 朱江, 林博規, 松嶋朗生, 進藤涼太, 田中充崇, 菅家徹, 神津大介, 古村健大, 木村真琴, 木城康仁, (FA)太田正廣



### ■車の特徴とチームの抱負

2年目の今年は、「Push Drivability to the limit」というスローガンを引き継ぎ、全体のコンセプトをそのままにパーツを1点ずつ見直し、改善点を洗い出すことで最適化・軽量化を実現し、ワンランク進化した車両となっています。

### ■スポンサー

本田技研工業, 日立ピアエンジニアリング, 日立ピアメカニクス, ワーク, くいんと, スピングガレージ, APP, ソリッドワークス・ジャパン, サイバネットシステム, NTN, FCC, ケーヒン, 昭和電工, 日信工業, THK, 富士精密, エフイーティー, 中央サーキット藤野, 旭硝子ウレタン, 服部塗装, サンアール, モトロマン, スーパーオートボックス八王子, 首都大学東京機械工学コース&工作施設

## 22 工学院大学

Kougakuin University

### ■メンバー

(CP)前野武士, 齊藤洋輔, 亀屋秀樹, 本田 章浩, 晝間大介, 井上仁之, 三浦尚大, 松橋高広, 原田昆寿, 三ツ井浩, 民部俊貴, 新開正志, 山口カ, (FA)飯田明由



### ■車の特徴とチームの抱負

今年は、「1つ2役」というコンセプトの元、1つの部品に多くの機能を持たせ軽量化を進めてきました。チームにおいても各人が無駄なく多くの役割を担い、メンバの少なさをカバーし、大会では上位入賞を目指します。

### ■スポンサー

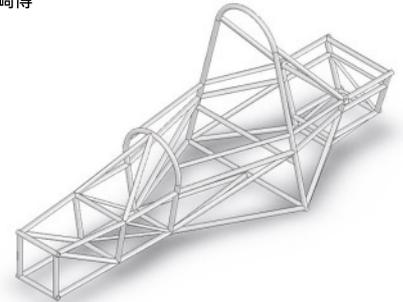
RPM, ウメダ, NTN, オスコ産業, AUTO WORKS ZERO RACING, 京都機械工具, 工学院大学機会工学科同窓会, 栄鋼管, 住鋤潤滑剤, スリオンテック, セントラル硝子, 帝都ゴム, THK, 日産自動車, ニフコ, 本田技研工業, ホンダマイスタークラブ, ミツトヨ, ミノルインターナショナル, 横浜ゴム, レイズ, ロプテックス, Miya Racing Service

## 23 近畿大学(大阪)

Kinki University Osaka

### ■メンバー

(CP)木津志基, 植田好弘, 小坂昌史, 山村洋介, 三好克典, 吉田正文, 大西淳也, 牧野誠司, 小林俊文, 林孝哉, 向井康晴, 小室克己, 橋詰恵治, 岸田拓也, 小城智哉, 足立悠真, 名生尚史, 馬渡諒子, 中條智裕, 笈貴一, 大知純, 寺田佳佑, 阪本太志, 西村隼人, 中谷和也, 藪田学, 江東真也, 松枝浩史, 小田貴之, 辻勇樹, 梨原雄飛, 岡崎和也, 出口清高, 井ノ上裕, 金谷紳寛, (FA)野崎博



### ■車の特徴とチームの抱負

第4回大会、最終種目のエンデュランス競技途中リタイヤの悔しさが、「ポイントゲットに貪欲になる」というチーム意識の原動力です。4代目となるマシン~KFR-04にチームメンバー全員の気合を注入し、少しでも順位を押し上げます！

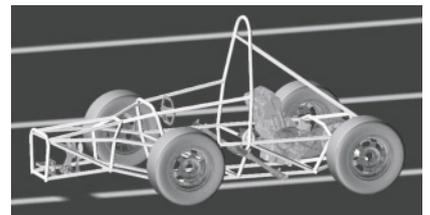
### ■スポンサー

川崎重工業, マツダ, ケーヒン, 名阪スポーツランド, 日ポリ化工, ニッコー溶材工業, ダイハツ工業, レイズ, 大同工業, ダイヘン, 日信工業東京アールアンドデー, NTN, サンスター技研, Solid Works Japan, 三宅工業, やまと興業, 今中鋼材, ハードロック工業, 礎, ロックファスナー, ラストラダ, 孝安産業, 旭電工, ニッソーサービス, コスモスジャパン, 電通国際情報サービス, ウエストレーシングカーズ, 高澤製作所, ササキネジ, 倉橋商店, エクセル貿易

## 24 University of Ulsan

### ■Team Members

(CP)Lee Young-Seok, Kim Dae-Woo, Lee Tae-Hyung, Kim Dae-Ho, (FA)Park Sung-Tae



### ■Feature of car and express team wishes of the Competition

Team Exponential have tried to attempt and achieve new technologies that we haven't got rather than get better result in the F-SAE competition. Nevertheless, for this year, we are striving to get better consequences by using data which we have got. Furthermore, we never dismiss trying new technologies. Reducing lag of turbo charging system and weight of moving parts such as powertrain and suspension are main concept for "Exergy 07"

■ Team sponsors

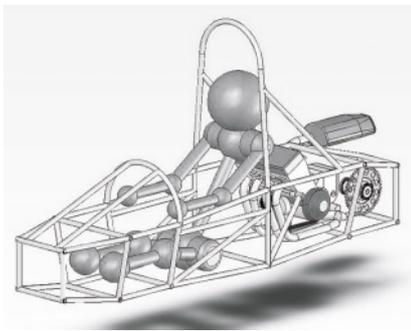
NURI, JEWOO, Kuk's auto & A.P.G., KUMHO Tires, JW Tech, KOF, Moonhwa Titan art, JSM, Samick THK co, Kartino, Packs, Turbogate Korea, KCC, Dae Won, Steelcaspy, Jeil bending

25 信州大学

Shinshu University

■ メンバー

(CP)須藤卓也, 長瀬昌親, 山口浩明, 里見崇徳, 福井昭博, 中野能征, 木脇聡志, 藁科泰輔, 田中智子, 成田雄一郎, モハマドナンセイ, 中田祐真, 鈴木浩之, 池原健, 藤原琢也, 三井田康輔, 深見清貴, 柿沢直紀, 篠原規将, 清水大志, 五十嵐智志, (FA)榎本祐嗣



■ 車の特徴とチームの抱負

全国で唯一の繊維学部である我々信州大学繊維学部のチームです。繊維学部の特色を活かした「唯一無二」をコンセプトにマシンを製作しました。今年度は全種目完走を目指し上位入賞を目指します。

■ スポンサー

NTN, 江洋ラチエーター, サーキットあずみ野, スズキ, ソリッドワークス・ジャパン, 千曲会, ウェッズ, スパルコR&D, 日信工業, ビボット, 本田技研工業, ヤマハ発動機, 横浜ゴム, レスカ, エムエスシーソフトウェア, 信州大学SVBL, 野崎デザイン

26 神戸大学

Kobe University

■ メンバー

(CP)竹内耕助, 有野直樹, 中嶋寛, 小坂隼一郎, 藤原康平, 中塚麻衣, 古賀進一朗, 中村正博, 宮崎宏二, 井上智晃, 箱谷淳, 北野純希, 木下智博, (FA)白瀬敬一, 宋明良



■ 車の特徴とチームの抱負

本年度の車両は、昨年度の車両をベースに改良を行い、ドライバーが運転しやすく、整備性も良い車両を目指して開発を行いました。チームとしては、昨年度に達成できなかった動的イベント完走を目標としています。

■ スポンサー

川崎重工業, ダイハツ工業, ソリッドワークス・ジャパン, 住友電気工業, 北神戸サーキット, キャノンシステムソリューションズ, セイコー化工機, NTN, 神戸大学工作技術センター, 宮脇鋼管, MOTO-DOG, タイヤセレクト神戸店

27 茨城大学

Ibaraki University

■ メンバー

(CP)足立秀樹, 鈴木一宏, 萩谷淳史, 阿部俊之, 平尾貴志, 富樫絵里子, 楠原隆之, 菅野晃慈, 杉浦亮太, 重松史明, 山崎哲央, 手塚勇, バーマンソルタニ, 丸橋光秀, 桑田英憲, 原田直輝, 柴口翔, 守本直樹, 渡辺修弥, 久保田真人, (FA)西野創一郎



■ 車の特徴とチームの抱負

昨年に引き続きケースレスデファレンシャルユニットを採用しました。エンジンマウントを取り外し式にする事で、エンジン周りをコンパクトにまとめる事が出来ました。チームの抱負は、全種目参加、完走し総合入賞を狙うことです。

■ スポンサー

本田技研工業, ソリッドワークス・ジャパン, プリチストン, カドワキ, 茨城県経営品質協議会, 河村製作所, 宮元製作所, 南海部品 水戸店, 東プレ, トヨタカラー新茨城, NTN, レーシングサービスワタナベ, フジヤマ, ウェストレーシングカーズ, 日立製作所オートモチブシステムグループ, 北関東ラチエータ, 日本ケーブル・システム, 日立電線, 砂押精工, 小峰製作所, 日立ゲージ工業所, 水戸工機, トーホー, ラストラダ, KR&トレンドカサマレーシング, 有限会社瀬谷精機製作所, アラキヤ, スパルコ R&D, サイクルショップ イマイ, 村田工業所

28 早稲田大学

Waseda University

■ メンバー

(CP)大野圭祐, 岩田知士, 江本遼平, 坂井拓斗, 小林弘樹, 藤井元気, 安田彩香, 金子智, 佐々木菜美, 佐々木祐治, 中島希光, 加藤弘祐, 岩下和彦, 石倉光基, 石崎達也, 永里有, 森順一, 今村佳祐, 関根慎二, 早川亮甫, 松本修治, 相川浩範, 足立一郎, 鷲川源也, 梶田宜久, 諸田昇, (FA)大聖泰弘



■ 車の特徴とチームの抱負

大会参戦三年目となる今年。マシンは初年度・二年目からより進化し、軽量化・乗り心地・整備性が向上しております。今までの弱点であった静的審査を克服し、動的種目での高ポイントを狙って上位進出を目指します。

■ スポンサー

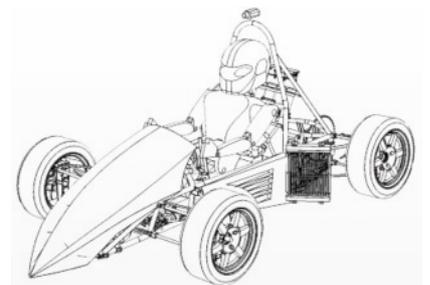
ウィンマックス, アッソ, 本田技研工業, ソリッドワークス・ジャパン, カミマル, NTN, ウェストレーシングカーズ, RICOLAND, 永田達商店, キャロッセ, 日信工業, エムエスシーソフトウェア, キソパワーツール, 国美コマース, sparcoR&D, スリーテック, 日産自動車, ハイレックスコーポレーション, プラスミュー, ジュニアモーターパーククイック羽生, 早稲田大学工作実験室, 早稲田大学競技スポーツセンター, 早稲田大学自動車部OB会, サイバネットシステム, 興和製作所, アファム・ジャパン, ファーストモルディング, ホフマンジャパン, パンザイ, マイスタークラブ, フィアロコーポレーション, 日東紡績

29 慶応義塾大学

Keio University

■ メンバー

(CP)山田泰之, 高屋圭介, 加藤彩乃, 吉村秀人, 桑山裕基, 永富泰次, 山口綾, 大隅俊宏, 鳥居孟史, 辻夏央, 稲田晴香, 門岡真之, 鈴木貴之, 豊島遼, 北山裕希, 桑原克英, 高塚裕也, 谷田和喜, 中尾勇貴, 渡邊啓介, 栗野友貴, 伊藤政範, 船越一平, 菅澤敏明, (FA)飯田訓正



■ 車の特徴とチームの抱負

大会参加車両KF-05は軽量小型化・出力向上による動的性能の向上と同時に、マシンの信頼性・整備性・運転性の確保を目標に開発されました。文系系系混合の長所を生かし、チーム一丸となり優勝を目指します！

# 参加チーム【チームメンバーとスポンサー】

## Team Information (members and sponsors)

### ■スポンサー

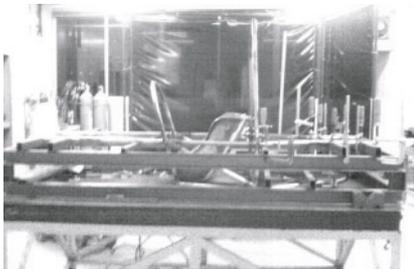
アールケー・エキセル, アクティブ, アファム・ジャパン, アライ電機産業, インテリジェンス, NOK, NTN, エフ・シー・シー, エムエスシーソフトウェア, エーモン工業, FRP.com, オーファ, 小野測器, オムロン, 関西ペイント販売, キノクニエンタープライズ, 協和工業, ケーヒン, 小原歯車工業, 互省製作所, サンハヤト, ジョーエーティー, シティカート, シバックス, ジェイ・ブロード, ジュニアモーターパーク クイック羽生, 城南キー, ショーワ, sparcoR&D横浜, 住友電装, 正栄機工輸入センター, ソリッドワークス・ジャパン, ダイヘン溶接メカトロシステム, 太洋電機産業, 田畑ラヂエーター, THK, テイケー工業, デンソー東京, 東名パワード, 東横化学, トップラインプロダクト, トヨタカラー栃木, 日産ディーゼル工業, ニッソーサービス, 日本開閉器工業, 日本発条, ノーブ, パバナシヨックス, 日立金属, プリチストン, プロト, ヘラマンタイトン, 富士精密, ポッシュ, ポップリベット・ファスナー, 本田技研工業, 三菱マテリアル神戸ツールズ, モリテック, モリワキエンジニアリング, やまと興業, 彌海和製作所, ユタカ技研, ユニフレックス, ラフアンドロードモーターサイクルズ川崎店, RAYS, 和光ケミカル, 慶應義塾大学 理工学部, 矢上キャンパス機械科実習室, 自工研OB会

## 30 ホンダテクニカルカレッジ関東

Honda Technical College Kanto

### ■メンバー

(CP) 田村将史, 石田尚之, 飯塚豪大, 土部裕信, 高塚一宏, 坂井琢磨, 津金翔, 小俣直樹, 斉藤真也, 堤新一郎, 原琢磨, 小林竜二, 柏崎翔太郎, 田口素, 鹿野義明, (FA) 杉田正司



### ■車の特徴とチームの抱負

今年のマシンは、無駄をなくした各パーツ類と軽量化による、マシンとしてのトータルバランスの高さを特徴としています。当チームも今年で参戦三年目を迎えます。今年は完走、総合でトップ10入賞を狙います。

### ■スポンサー

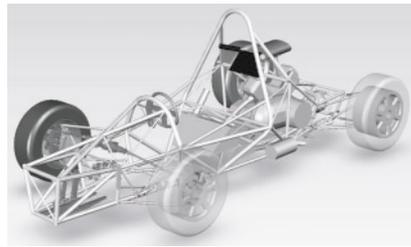
クイック羽生, ケーヒン, ソリッドワークスジャパン, ハマナ自動車, 本田技研工業, レインボーモーターズクルール, RKEXCEL, DreamFactoryNorie's, 藤田商会, 大同メタル工業

## 31 大阪大学

Osaka university

### ■メンバー

(CP) 井上豪, 慶田達哉, 高橋良太, 福井淳一, 佐々木真吾, 青野淳, 奥西晋一, 武下肇, 田中慎也, 生原尚季, 西谷大祐, 大山裕基, 石原尚, 景山泰裕, 松本佳幸, (FA) 赤松史光



### ■車の特徴とチームの抱負

今年度、私たちは「Emotional Drive」というコンセプトの下、速さだけではなく運転する楽しさを見つけることを目標として車両を作ってきました。この車両で、全種目完走しメンバーの努力が報われる大会にしたいと考えています。

### ■スポンサー

川崎重工業, プリチストン, NTN, 国営アルミ製作所, シグナル, クワハラバイクワークス, ソリッドワークスジャパン, 住友電装, ダイハツ工業, 神戸製鋼, 宮脇鋼管, 八尾歯車, 西原産業, タイガー製作所, 大東ラジエーター, 伊丹タイヤ商会, ガレージ MID, RS TAICHI, フルーエント・アジアパシフィック, 大阪大学, フロンティア研究センター

## 32 同志社大学

Doshisha University

### ■メンバー

(CP) 内木武虎, 松村浩明, 魚谷隆太, 田中慎也, 堀江俊晶, 羽鳥幸司, 工藤尚敬, 井上雄大, 清水勇貴, 佐伯昭哉, 安藤正隆, 川口将彦, 木嶋洋成, 吉田周作, 渡部祐樹, 羽鳥総一, 光川真由, 炭窯日加利, 稲葉建造, 望月彰人, 山中俊毅, 若林聖明, 廣田一優, 竹林佑介, 植田貴昭, 湯浅拓也, 柚木一男, 北山寛洋, 藤河友美, 江口友梨, 貴田洋輔, 岩田佳朗, (FA) 藤井透



### ■車の特徴とチームの抱負

我々同志社大学フォーミュラプロジェクトは昨年度の大会で最後のエンデュランスでリタイヤしてポイントを逃してしまいました。その悔しさをバネに一年間新車両を製作してきました。また、今年度我々のチームは活躍していた先輩方から意思を受け継ぎ一回生から三回生の新しいメンバーの新チームで発足しました。なので、レーシングカーの製造するノウハウを理解するのとチーム

の統率するには苦労しました。しかしこの一年間でチーム自体技術もチーム力も向上しました。今年度の車両は「速くて操作性の良い車両」を勝利コンセプトにマシンを製作してきました。その中に軽量化、操作、居住空間、を特に重点におき製作してきました。また、後付のない車両であること。また、一つ一つの部品の形状、機構はよく実験し、確かめ製作して来ました。

### ■スポンサー

川崎重工業, 堀場製作所, ソリッドワークス・ジャパン, ダイハツ工業, ノイズ研究所, 東京アルアンドデー, RSタイチ京都店, アクティブ, 國陽, 神戸製鋼所 (KOBELCO), トヨタレンタリース京都, 竹の高度利用研究センター, 昭和高分子, 大久保ボーリング, やまと興業, サンスター技研, エフ・シー・シー, 鬼頭歯車, NTN, 富士通テン, 横浜ゴム, trad (ティラド), レーシングサービスワタナベ, 琵琶湖スポーツランド, GSUYASA, 竹の子会, 東京測器研究所, ウェブデザイン春夏秋冬

## 33 大同工業大学

Daido Institute of Technology

### ■メンバー

(CP) 上田友佑, 中嶋和人, 加藤公輔, 齋藤亮太, 小松哲生, 清水勇樹, 千原章吾, 中村一斗, 西明德, 萩野将広, 向創, 村田祐樹, (FA) 鈴木桂輔



### ■車の特徴とチームの抱負

私共大同工業大学フォーミュラプロジェクトの今年度のキーワードは「D-LIGHT」です。喜びを意味する「DELIGHT」をDAIDOのDと、軽さを意味するLIGHTに置き換えた造語です。また、今年度からは燃料供給方式をキャブレターからインジェクションに変更し、動力性能を向上いたしました。動力性能の向上と軽量化はユーザーに多くの「喜び」を提供するでしょう。

### ■スポンサー

ヤマハ発動機, ウェストレーシングカーズ, NTN, FCデザイン, カーライフソリューションK-one, ケミテック中部, ソリッドワークスジャパン, 中央発條, 大同学園, 創造製作センター

## 34 静岡理科大学

Shizuoka Institute of Science and Technology

### ■メンバー

(CP) 小栗惇, 四條健, 井上達矢, 塚本崇, 瀧美和己, 木内達也, 安達祐介, (FA) 大塚二郎



**■車の特徴とチームの抱負**

昨年の初参戦より私達が熟成してきた単気筒の小型軽量のエンジンにスーパーチャージャーによる過給とセミアクティブサスペンションを搭載しさらにコンパクトな車体にパッケージングしました。昨年度は惜しくも完走できなかったため今年度は完走以上の結果で昨年度の悔しさを晴らしたいです。

**■スポンサー**

SUZUKI, 榊葉鉄工所, NTN, LORD Corporation, NSKワナー, 小楠金属工業所, ユニクラフトナグラ, ユニバンス, マルイチ, 浜松鉄工所, TMC, ソリッドワークスジャパン

**35 名城大学**

Meijo University

**■メンバー**

(CP) 渡辺禎隆, 安藤俊, 内山竜一, 小木崇雅, 山本雅大, 渡辺禎隆, 木村要, 高橋岳大, 手島耕平, 中垣宣人, 加藤友太郎, 浅野寛明, 柴田康裕, 鈴木直哉, 新田浩史, 平野勝也, 待田雄矢, 宮崎真弥, 森田智恵, 安井佑, 星学文, 横里岳大, 石塚暁大, 加藤崇裕, 河合類斗, 吉村康裕, (FA) 早藤英俊



**■車の特徴とチームの抱負**

小型軽量のWR450Fエンジンを搭載し、軽量なマシン。加えてF1とパドルシフトを採用。この車両で今年度こそ動的種目完走を目指す。

**■スポンサー**

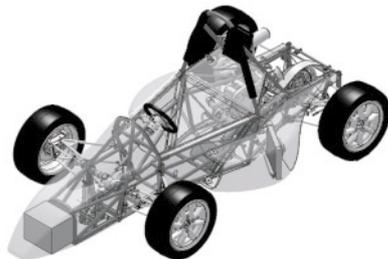
YAMAHA, YOSHIMURA JAPAN, NTN, NICHIRIN, RS Watanabe, Sango, YAMATO INDUSTRIAL, CHK, D.I.D, DAD, Suzukaku, WAKO'S, WADA・WELDI NG, RAINBOW SPORTS, INOUE BORING, Solid Works Japan, KOYAMA GARAGE, Teshima printing office, SOFT PREN GROUP, Minaro

**36 千葉工業大学**

Chiba Institute of Technology

**■メンバー**

(CP) 廻谷正史, 椋貴裕, 鈴木雄一, 大金雄弥, 小宮憲太郎, 登玉剛士, 堀内一樹, 松本雅育, 小山和紀, 沖見則重, 川原靖弘, 木村良一, 石橋浩, 伊藤好和, 奥川和幸, 徳本直樹, 照屋吉正, (FA) 金沢憲一



**■車の特徴とチームの抱負**

誰でも運転しやすく整備性も良い車両を追求し、昨年度車両から30%の軽量化やパドルシフト化など、大幅な改良を加えました。今年度は全種目への出場および完走を最低限の目標とし、上位進出を目指します。

**■スポンサー**

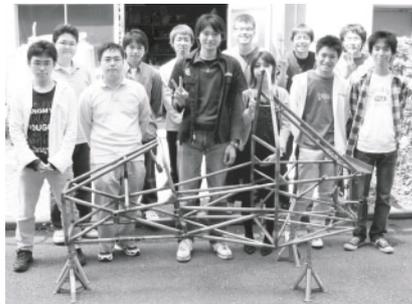
ヤマハ発動機, VSN, ファクトリーギア, キャムプレーン, レーシングサービスワタナベ, エムエスシーソフトウェア, F.C.C., NTN, ソフトウェアクレイドル, TET's, 青葉化学工業, プリチストン, オートベル・ジャパン, 京葉バンド, 日本自動車大学校, 東プレ, ポリテクセンター千葉, 細淵ラヂエーター工業所, アーレスティ, スズキ, 昭和飛行機工業, 谷津商事, 神栄テクノロジー

**37 東京農工大学**

Tokyo University of Agriculture Technology

**■メンバー**

(CP) 磯谷十蔵, 平井駿介, 成尾直樹, 石崎由也, 清水達也, 武田亘, 後藤龍一, 山崎剛史, 東谷佳織, 梶原雄三, 飯田隆彦, 飯塚誠, 伊藤宏典, 大友秀昭, 大山隆宏, 小黒宏史, 小林直人, 丹地俊貴, 古林盾門, 山田洋平, 横田有里香, (FA) 道辻洋平



**■車の特徴とチームの抱負**

私たちは「Smart」という車両コンセプトのもと、小型で軽く、コストパフォーマンスに優れた車両を目標にNK03を設計・製作しました。前年度の反省を活かし、目標である総合優勝を狙います！

**■スポンサー**

本田技研工業, プリチストン, 住友軽金属工業, THK, モトショップStrada, ソリッドワークス・ジャパン, レイズ, NTN, 埼玉車体, APP, 日信工業, ニチリン, 相模湖ビクニックランド, Pronto配線コム, 学校法人小倉学園 専修学校 東京自動車大学校, 日邦産業, ジュニアモーターパーク クイック羽生, 竹内化成, ティラド, エッチ・ケー・エス, テックイン, アサデン・ギヤー, モリワキエンジニアリング, ウエストレーシングカーズ, エフ・シー・シー, 東鋼管工業, ふくろうサポート, 山口電機工業, 日本発条, 東京農工大学機友会, 東京農工大学機械システム工学専攻

**38 東海大学**

Tokai University

**■メンバー**

(CP) 高柳夏樹, 野崎隆司, 古賀真光, 久保田遼平, 石田俊平, 丸山聡, 久保木圭太, 吉村亮人, 赤崎賢史, 佐々木玲奈, 小山内和輝, 小笠原康二, 田中純, 丸泰祐, 田中大樹, 佐々木利幸, 斉木翔一, 小森健史, 守谷泰吉, 山川智也, 杉崎裕俊, 関本祐太郎, 弓田香菜恵, (FA) 向井恒三郎



**■車の特徴とチームの抱負**

私たちはコンセプトを「世界に挑戦できるレーシングカー」とし、世界の強豪チームと同等に競える、もしくはそれ以上のレベルに達するマシンを目指しています。そのため、非常にテクニカルなFSAEのコースでマシンの性能を最大限に発揮することでこれを満足できると考えています。また一昨年の大会で使用したエンジンP507(SUZUKI SV650S)を引き続き使用し、さらには今まで以上に過去に培ってきた経験を生かし、これまで成し遂げられなかった全競技出場を最低条件とし、上位入賞を目指します。

**■スポンサー**

スズキ, P.P.技研, AVO/MoTeC Japan, ACCEL, Pronto配線コム, ガレージホリノ, FCデザイン, 住鋳潤滑剤, エルフ, フレックス, F.P.JAPAN, 井上ボーリング, エヌ・イー, シーディー・アダプコ・ジャパン, サイバネットシステム, やまと興業, レント, 及川製作所, 大同アミスター, アールケー・エキセル, NTN, 東海パネ工業, 横浜ゴム, クワハラバイクワークス, MYZ, エヌ・エム・ビー販売, ミスミ, 日本ヴェーテック, ジュニアモーターパーククイック羽生, 本田技研工業, 日産自動車, Thomas&BettsInternationalinc, ナップス伊勢原店, ガレージ茶畑, ソリッドワークス・ジャパン, エフ・シー・シー, 鈴村製作所, RAYS

**39 九州工業大学**

kyushu University Of Technology

**■メンバー**

(CP) 前田正弘, 達富正英, 大久保潤一, 大久保麻衣, 長谷川幸太, 野村嘉志, 山下耕太郎, 伊藤哲平, 仲武聖仁, 池田裕介, 中里慎二, 福島崇紘, 樋淵将士, 松田竜一, (FA) 河部徹



**■車の特徴とチームの抱負**

今年のモットーは「三度目の正直！」、過去2回の失敗をもとに洗練されたマシン設計を試みました。昨年度よりも軽量化され高い剛性を持つフレームをはじめ、洗練されたマシンで今までの雪辱を晴らします。

# 参加チーム【チームメンバーとスポンサー】

## Team Information (members and sponsors)

### ■スポンサー

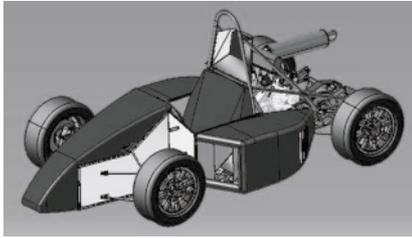
NTN, MSC Software, サイバネットシステム, 高田工業所, スチールプランテック

## 40 明星大学

Meisei University

### ■メンバー

(CP) 鍋谷智之, 小川琢也, 小杉健児, 戸塚均, 服部充岳, 福井徹, 本多正明, 前田琢磨, 松村達也, 工藤雅幸, 杉浦裕太, 泉福清登, 夏目亮尚, 西谷淳, 遊亀翔, 平井遼, 島本晋吾, 大和田卓, 林雅洋 (FA) 亀井延明, 江川庸夫



### ■車の特徴とチームの抱負

私たちは、「基本的性能の向上」というコンセプトで、昨年の車両をベースに開発しました。今年で3年目のアルミハニカムモノコックフレームの採用と各パーツの性能向上で、全動種目完走と総合得点600点獲得を目指して大会に挑みます!

### ■スポンサー

CAR TOTAL ADVISER NEXT, DICO, FCC, NTN, MYZ, RPM, 石河製作所, カルソニックカンセイ, グッドリッジジャパン(レアーズ), シーケー販売, ジュニアモーターパーククイック羽生, 昭和飛行機工業, 真幸電機, ソリッドワークス・ジャパン, トムス スピリット, 日本シーカ, プリチストーン, 本田技研工業, 明星大学 育星会(父母会), 有楽丸商, レーシングサービスワタナベ, ロブテックス, 渡辺工業

## 41 高知工科大学

Kochi University of Technology

### ■メンバー

(CP) 寺井輝晃, 吉田潤平, 香川真彰, 田辺真一, 北村知也, 中塚洸太, 新谷秀太, (FA) 山口信次



### ■車の特徴とチームの抱負

今年のマシンの特徴は、450cc単気筒エンジン、ロングホイールベース、広いコックピットです。エンジンは前年度のマシンより低速でのトルクを重視しSUZUKI製LTR450を使用しました。広いコックピットにする事により体型への制約を無くし、誰もが楽しめるフォーミュラカーにしました。

チームの抱負としては、少ない人数ですが各自の分担を責任をもって行い、去年、一昨年と参加できてない動的競技に参加し、必ず完走をして結果を出したいと思っています。また、学生フォーミュラ大会に参加することにより、メンバーの人間性、社会性のレベルアップができるよう活動を行っていきたく思います。

### ■スポンサー

SUZUKI, Kochi Classic and Sports Car Club, 浜田製作所, SBS高知, Ke~FACTORY, ネットヨタ南国, モーターランドたがわ, タイヤプロショップ タイヤガーデン M HOUSE, ニッソーサービス, 高知工科大学 知能機械システム工学科, F.C.C.

## 42 福井工業大学

Fukui University Of Technology

### ■メンバー

(CP) 倉元伯行, 阿部誠人, 伊藤康仁, 市岡泰則, 植木佑輔, 木本浩貴, 白坂拓也, 竹位宜祐, 富田和也, 中島茂春, 林裕也, 森永将仁, (FA) 小栗彰



### ■車の特徴とチームの抱負

メンバーの大半が初めて大会に参加するので、すべての動的審査を完走することを目標としています。また今年のマシンの特徴は初心者が運転しやすいフォーミュラカーとしています。

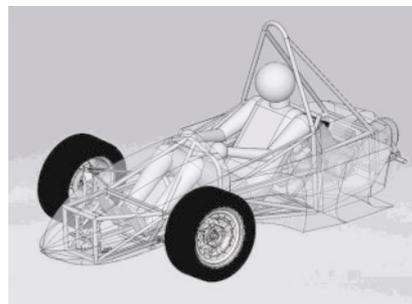
### ■スポンサー

金井学園, HONDA, NTN, SolidWorks, fcc, MACCNA, 個人スポンサー様

## 43 Southern Taiwan University of Technology

### ■Team Member

(CP) Chon Jun Jie, Chen ZhaoYing, Gao Rong Xing, Liu Jia Lang, Zheng Ren Bang, Chen Ming Zhi, Zhen Ming Hui, (FA) Wei-Chin Chang



### ■Feature of car and express team wishes of the Competition

A creativity monoshock suspension with lightly car weight is the main feature for this year design. From first year competition experience, either static or dynamic events, both playing important rules to win the competition. We look forward to get higher point in all the events in this year, and our team mission are " Drive in safety, Chase for Winner"

### ■Team sponsors

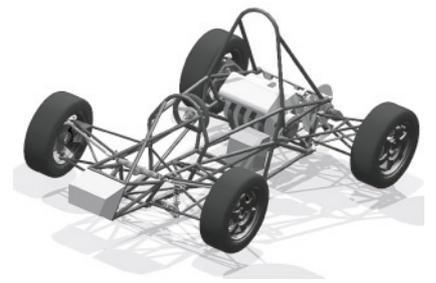
一高工業有限公司[A-Belt-Lin Industrial Co., LTD], 輪轉驅動有限公司[WHEEL, DRIVE MOTOR SPORT], 逢連企業股份有限公司[FOUNDER LAND CO., LTD], UNIVANCE CORPORATION, 捷佳企業股份有限公司[Simota Racing Sports], 豐信電機股份有限公司[FUNCTION ELECTRIC INC], 實威科技股份有限公司[SolidWizard Co.,Lti], 泓明科技股份有限公司[Hong Ming Technology Limited Company], 貴一興業股份有限公司[TAIWAN FILL-ERTECH.CO.LTD], 崙金企業股份有限公司[LUEN JIN Enterprise Co., Ltd.], 克佳興業股份有限公司[DNM INDUSTRIAL CO., LTD.], 統亞電子科技股份有限公司[TONG YAH ELECTRONIC TECHNOLOGY CO., LTD.], 嶺川地板有限公司[Ling-chuna Floor Co.Led], 柯億達貿易股份有限公司,

## 44 ものづくり大学

Institute of Technologists

### ■メンバー

(CP) 箕浦豪, 堀田知幸, 須賀崇行, 小林一馬, 齋藤安樹, 中村厚, 松沢正晴, 松永真弥, 吉田香織, 鷲尾景樹, 佐藤匠, 佐成弘, 清水政繁, 西山正臣, 酒本大地, 本田真一, 鶴飼岳, 奥野憂祐, 河間大, 川村琢馬, 原田太智, 松永健人 (FA) 原薫



### ■車の特徴とチームの抱負

MF-002THはフレームに2ピース構造を採用し、メインフープより後方をエンジンごと分割することが出来る。昨年度の悔しさを払拭するべく、大会では動的競技完走を目指します。

### ■スポンサー

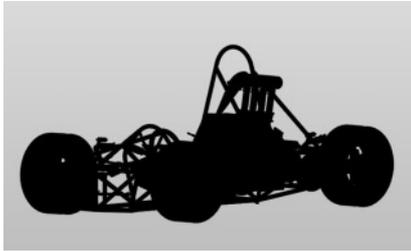
本田技研工業, 岡田モータース, タイヤセレクト吹上, バイクスタッフ アリエ, ジュニアモーターパーククイック羽生, ノルトロック ジャパン, ソリッドワークス・ジャパン, 関口工業株式会社, スタジオギア

## 45 豊橋技術科学大学

TOYOHASHI UNIVERSITY of TECHNOLOGY

### ■メンバー

(CP)田中和宏, 浜江佑介, 茅野浩之, 奥田裕也, 島田卓弥, 手塚康瑛, 近藤圭太, 我妻裕樹, 石森慎弥, 永井宏典, 野口健太, 中村剛也, 里川玄樹, 柳内英知, 山田祐也, 松澤和憲, 清水基志, 熊谷匡明, 中野裕士, 澤俊宏, 前川浩規, ムハマドフィルダウス, 上嶋宏紀, 岡田隆志, 東城翔太, 中本昌平, 草野雄也, 瀬沼知弘, 東宏昭, 松本卓也, 戎野由展, 古谷友樹, ムハマドファテュラ, 辻井謙一, 上條穂恵, 菊池亮太, 吉田拓矢, (FA)柳田秀記



### ■車の特徴とチームの抱負

参戦2年目である私達の目標は上位入賞を目指し、今後を見据えた活動の基盤を築くことです。車輛は徹底的な軽量化、低重心化、ヨー慣性モーメントの低減を行い、運動性能を高めました。

### ■スポンサー

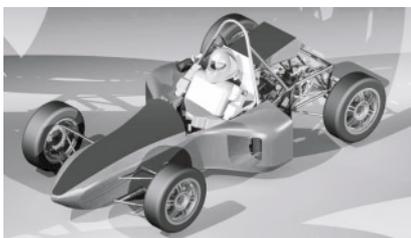
武蔵精密工業, ダッド, オーエスジー, CDS, 三菱レイヨン, ポップリベット・ファスナー, コンティネンタル・テーベス, ユニバンス, トピー工業, ソリッドワークスジャパン, エムエスシーソフトウェア, NTN, 小野測器, 本田技研工業, 大同アミスター, THK, 中央発條, 三協ラジエーター, アダチ鋼材, サイバネットシステム, ケーヒン, 矢崎部品, 三菱マテリアル, リンタツ, サイマコーポレーション, ネクスト, YSP豊橋南, 研究基盤センター工作機器部門(豊技大), 未来ビークルリサーチセンター(豊技大)

## 46 福井大学

University of Fukui

### ■メンバー

(CP)小林知生, 佐藤雅紀, 高橋亮司, 三木頌一, 大村尚史, 早乙女司, 石田浩高, 磯谷圭佑, 黒岩祐太, 村田龍一, 大久保勇毅, 滝田真也, 大原悠, 群柳将吾, 山田啓太, 平井義人, 石黒貴寛, 尾形孔輝, (FA)新谷真功



### ■車の特徴とチームの抱負

「Dash & Dance!!」をコンセプトに掲げ、加速性能(Dash)、旋回性能(Dance)をマシントータルでのバランスを考慮したうえで高次元で実現できる車輛の開発を目指しました。

### ■スポンサー

アイシン・エイ・ダブリュ工業, おおい商事グループ, ウエストレーシングカース, 宇野歯車工業, NTN,

エフシーシー, キノクニエンタープライズ, 神戸製鋼所, 光生アルミニウム工業, ショーフ, SUZUKI, 住友ゴム工業, ソリッドワークスジャパン, 田安鉄工, THK, 日信工業, ハイレックスコーポレーション, 古河スカイ, プレニー技研, ホクシン, 松浦機械製作所, 丸五ゴム工業, 吉岡幸

## 47 日本大学生産工学部

College of Industrial Technology, Nihon University

### ■メンバー

(CP)五十嵐敏之, 渡辺慶一, 遠藤裕夢, 小田康晴, 風間祐希, 野中好文, 牧田直希, 吉村達矢, 海野直弘, 倉田祐輔, 佐藤宗一郎, 佐藤洋康, 高宮賢太, 滝田裕一, 松下優穂, (FA)氏家康成



### ■車の特徴とチームの抱負

足回りの軸受に球面軸受を採用することでより高い耐久性のある車両を目指しています。未だ果たせていない完走を目標に、今年の大会で最高の結果を獲得したいと思っています。

### ■スポンサー

NTN, FCC, 埼玉車体, Solid Works, sparuco, 日本大学生産工学部機械工学科, 本田技研工業, 矢野木材

## 48 岐阜大学

Gifu University

### ■メンバー

(CP)山本宗平, 原田洋輔, 澤田徹, 丹羽俊晴, 尾裕日紗志, 酒井宏紀, 村瀬広樹, 川松裕史, (FA)井原慎貴



### ■車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトを「扱いやすく」そして「レーシングカーらしく」と昨年度から引き継ぎ、正常進化したマシンで大会に挑みます。メンバー全員で協力し全種目完走させ、上位入賞を目指します。

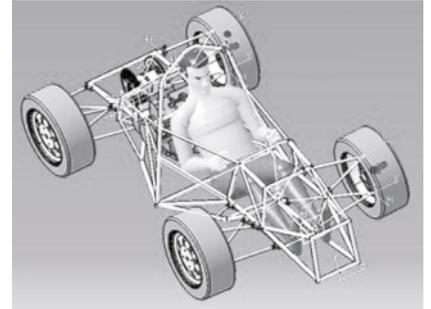
### ■スポンサー

アネブル, 天木鉄工, 岩田製作所, エーヤキカイ, NTN, FCデザイン, 岡本・ナベヤ, オンダ製作所, 岐阜ギヤー工業, スズキ, ソリッドワークス・ジャパン, 太平洋工業, 中日本印刷, 鍋屋バイテック, 日本トムソン, ハビックス, ビボット, フクダ精工, プレニー技研, マキタ, 望月建築事務所, レイズ

## 49 Yeungnam University

### ■Team Members

Yunchol Bae, Hyoil Choi, Sangho Jang, Juhyun Park, Jinhwan Kim, Kyoungme Kwon, Jaeyup Jung, Byeongtae Lee, Woongil Kim, Jooyong Jo, Jonghwan Sung, Chansuk Park, (FA) Dongjoo Lee



### ■Feature of car and express team wishes of the Competition

Yeunnam FSAE was the first korean team to compete at 2004 JSAE. Ergonomics : Using paddle shifter, driver can fsat shift change with his hand on the steering wheel. Also, we are able to remote ECU mapping control module through to contact with driver telecommunication. SCM 440 Live spindle, Blue-tooth module, Fox 2-way adjustable damping shock, Motec ECU, Traction Control System, Aircraft fabric body.

### ■Team sponsors

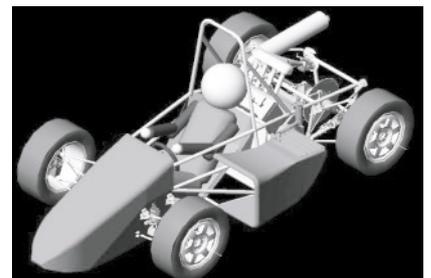
Comptek, BOSCH, Henkel, Dongwon metal, Samick T.H.K, Valvoline, Kumho Tire, Delphi, OSG Kerea, NURI, TPC, KPAI, Fiber-X

## 50 金沢工業大学

Kanazawa Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)西川彰彦, 沼田翔太, 松川弘幸, 内水智也, 大西功規, 近藤容章, 嶋田恵助, 菅居大誠, 栃木伸仲, 羽馬友理恵, 細川徹, 石田和輝, 今井慎吾, 上田将司, 岡島嵩, 岡本宗大, 高坂岳, 佐野真司, 杉本尚輝, 田浦寛齊, 高橋頼弘, 竹内正城, 藤田裕幹, 中田和志, 宮下淳史, 芳田悟, 油浅亮祐, 龍前幸太郎, (FA) 太田誠鉄



### ■車の特徴とチームの抱負

KIT-07modelは前年車両をベースに、市場調査を行い更なる魅力を持たせた車両です。昨年はマシンが完成しながらも大会参加を辞退しましたが、背水の陣の思いで大会に挑みたいと思います。

### ■スポンサー

本田技研工業, プリチストン, S-GRID, TOLAP, BIKE ROUTE, 草島ラジエーター工業所, 今村摩擦圧接工業

# 参加チーム【チームメンバーとスポンサー】

## Team Information (members and sponsors)

### 51 近畿大学工学部

Kinki University School of Engineering

#### ■メンバー

(CP)松井崇史,成田侑也,(FA)清水正則

### 52 成蹊大学

Seikei University

#### ■メンバー

(CP)守谷皇太,井辺洋輔,佐藤彰吾,清水崇史,頼住敏彰,前川徳允,畠山英久,長澤由之,原正大,松原慶太,佐々木祐太,松井亮太,光永朋之,飯田健太,小笠原拓哉,原康平,蛭名幸誠,島祐一,伊東大吾,深澤孝考,竹ノ谷翔,吉良勇佑,谷嘉起,梅田優一,河津礼可,山口友樹,亀崎彰宏,(FA)堀口淳司



#### ■車の特徴とチームの抱負

私たちは「荷重移動の少ない扱いやすい車両」をコンセプトに、ワイドトレッドという特徴をもつ車両を作り上げました。今大会が初参戦になりますが、全動的種目完走を目指し、新人賞を狙いたいと思います。

#### ■スポンサー

本田技研工業,東鋼管工業,ナップス東八三鷹店,東北ラチエータ,ダウ化工,NTN,RPM,トタル・ルブリカンツ・ジャパン,成蹊大学理工学部

### 53 北海道大学

Hokkaido University

#### ■メンバー

(CP)鈴木健介,石田幸大,竹内寛貴,福井薫,鈴木隼人,李勇柱,木暮孝典,樋口大河,山中将裕,内山耕太郎,大島剛志,鈴木隆太,柳谷友太,前田秀旭,中田周平,(FA)近久武美



#### ■車の特徴とチームの抱負

マシンコンセプトは「簡単,手軽なレーシングカー」。3年後の表彰台を目的とした継続開発初年度のマシンです。次年度以降の雛形とするために今年は車検一発合格,全競技完走を目指します。

#### ■スポンサー

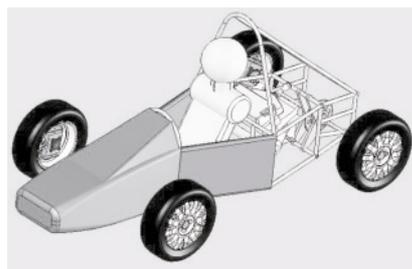
本田技研工業,スズキ,ミネベア,新千歳モーターランド,Solidworks Japan,前田金属工業,F.C.C,レーシングサービスワタナベ,JFEスチール,札幌クスコ,プランニングフォー,アクティブ,池田暖房工業,JUDGMENT

### 54 山梨大学

University of Yamanashi

#### ■メンバー

(CP)柴田幸季,西尾仁志,上島輝夫,萩谷展研,近藤和也,中島和也,猿渡直洋,跡部記子,岡田直也,鷹左右康,山口浩由,渡辺貴生,芝田祐樹,花井海斗,萩原雅樹,深見昂平,慶本裕樹,横山恵佑,佐藤麗斗,川上英樹,友田香織,(FA)角田博之



#### ■車の特徴とチームの抱負

マシンコンセプトは「全ての人に走る喜び」。そのために基本性能の完熟を目指し、開発を続けてきました。また環境負荷低減こそが消費者の真のニーズと考え、排気触媒を採用して排ガスのクリーン化に取り組みます。

#### ■スポンサー

hair boutique AKIYAMA,秋山歯科,incomplete,おがた歯科,小沢耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック,HPI,NTN,F.C.C.,笠井歯科,カレッジハウスウエマツ,コーポ藤 東條,すずきネフロクリニック,ダイトスターレーン双葉,ダイハツ工業株式会社,ハイレックスコーポレーション,日原内科小児科,ひはら整形外科,フォトショップココヤマ,ファッション・ルーム チヌーム,日信工業株式会社,Men's Cut Room M&R,ソリッドワークス・ジャパン,フューチャーズクラブ,菓子処 明月堂,YOU SHOP おかだ,湯村自動車学校,昔きもの ゆめや,クリーニング よねや,スズキ,山梨大学

### 55 九州産業大学

Kyusyu Sangyou University

#### ■メンバー

(CP)寺山広真,赤池翔太,野中裕道,瀧川亮平,門脇優輝,向井靖雄,(FA)寺西高広



#### ■車の特徴とチームの抱負

車検合格を目指して、作りやすい安全な車の製作。カーデザインを芸工学部が行うことにより見た目のインパクトを重視。

#### ■スポンサー

フルキャストセントラル

### 56 Kunsan National University

#### ■Team Members

Min-Ho Jeong,Kyu-Ho Choi,Kyung-Seok Ro,Han-Sol Lim,Won-Young Kim,Young-Sik Jo,(FA)Gang-Won Jang



#### ■Feature of car and express team wishes of the Competition

This is our first international game in a foreign country, so our goal is to run the whole distance without any difficulties. We made our vehicle posses outstanding durability.

#### ■Team sponsors

Kumhotire,xenon sports,Nuri,KATIC,AARK

### 57 秋田県立大学

Akita Prefectural University

#### ■メンバー

(CP)小林弘典,石原巨,岡崎善衛,高山雅樹,谷村大輔,阿部鉄也,阿部雄太,伊藤学,小池史祥,小島一晃,佐藤翔太,高橋新樹,田川裕太,清水悠介,倉橋貴大,石井杏奈,五十嵐真,大場範之,庄司圭佑,本間謙也,新井優作,粟野原佑紀,小澤和也,(FA)杉本尚哉



#### ■車の特徴とチームの抱負

今年のチームコンセプトはズバリ「PLAYS!」。言葉のとおり楽しさであり、今年度製作車両「GP01」は乗って楽しい!いじって楽しい!見て楽しい!の三拍子がそろったマシンで、エンデュランス完走を目指します。

■スポンサー

エフ・シー・シー, Quik Line, プリチストン, 本田技研工業, 秋田県立大学, 秋田県立大学後援会, 三栄機械, ソリッドワークスジャパン

58 京都工芸繊維大学

Kyoto Institute of Technology

■メンバー

(CP) 寺田真, 遠藤弘樹, 河井友梨, 後藤宏志, 小西健也, 小林省吾, 杉江朋彦, 辰巳昌吾, 田村優希, 辻和夫, 富田春樹, 西田淳一, 西出陽輝, 堀田大樹, (FA) 村田滋



■車の特徴とチームの抱負

マシンのコンセプトである軽量・コンパクトを目指し、単気筒450ccのエンジンを搭載の扱いやすいマシンをつくりました。出場初年度ということもあり、車検を突破し、全ての競技でマシンを走らせることができるようにがんばります。

■スポンサー

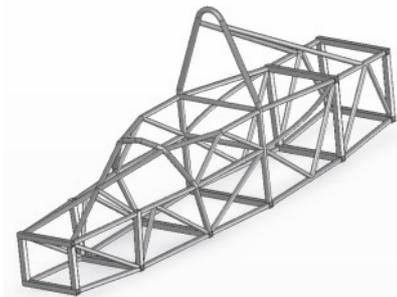
スズキ, 大東技研, トレンタクワトロ京都, Y'sガレージ, キノクニエンタープライズ, ビゴレカタオカ, MOTEC JAPAN, 川崎重工業, アイセイハード, ナイス, 和晃技研, プロ, 津田常工業, 小澤商会, 京都工芸繊維大学 OBOGの皆様

59 大阪産業大学

Osaka Sangyou University

■メンバー

(CP) 石原慎也, 松井優, 小田文裕, 板倉弘樹, 紀國谷浩之, 水谷浩也, 木村賢太郎, 小畑悠介, 岡嶋靖啓, 榎木憲治, 池内公亮, 大山敏夫, 小堀智秋, 梅木義充, 水元寛規, (FA) 籠谷正則



■車の特徴とチームの抱負

本学のフォーミュラプロジェクトは、本年度が初参戦になります。当初の目標は「参戦」でしたが、車両製作が軌道に乗ると、「完走」へと変わりました。基本的な部分はしっかり押さえての車両製作を行いました。

■スポンサー

川崎重工業, SolidWorks, RAYS

60 久留米工業大学

Kurume Institute of Technology

■メンバー

(CP) 西野雅泰, 今井要佑, 竹田雄祐, 武田晃一, 須貝基司, 山口清孝, 須賀英貴, 井口亮, 江原良太, 緒方浩二, 緒方一成, 松尾長紘, 服部雄紀, 杉野史瑛, 河野淳, 西嶋拓也, 大石悠介, 太田寛人, 亀井宏晃, 渡邊宗矩, 福島範昭, 岩崎青哉, 小田龍之介, 岸上陽志朗, 西岡孝啓, (FA) 東大輔



■車の特徴とチームの抱負

誰でも容易に操作できる乗りやすさを実現するために「カイカン」をテーマに製作された車輛です。今年度初出場なので車検に合格し全ての動的競技にチャレンジする事を念頭に頑張ります。新人賞を目指しています。

■スポンサー

スズキ, プリチストン, ソリッドワークスジャパン, フェニック, アルトナー, 竹田設計工業, 堤サービスエンジニアリング, 久留米工業大学同窓会, 久留米工業高等専門学校, 和光ケミカル, 大阪単車用品工業, 田原ボデー製作所, FCデザイン, 中島田鉄工所, トーホー, グッドリッジジャパン, モリタ, モーターテクノロジー, アトリエ遊, 大石エンジニアリング, 上津レンタカー, 大同工業, ものづくりセンター「創造工房」, フルキャストセントラル

61 ホンダテクニカルカレッジ関西

Honda Technical College Kansai

■メンバー

(CP) 佐藤聡, 加藤善久, 中村勇太, 木本達矢, 山下晃平, 魚田直樹, 木原真一, 大田光泰, 前田修哉, 木村征士, 角川晃一, (FA) 中村忠能



■車の特徴とチームの抱負

私達Integration XIは、「ドライバーと共に成長するマシン」というコンセプトを基に、車両の開発を行っています。ドライバーの目線に立ち設計を行い、セッティング機構の工夫や、電装デバイスによるアシストなどでコンセプトの実現を目指しています。初参加であり、数少ない専門学校からの参加ということで難しい部分もありますが、自分たちのやりたい事をしっかりと車両に反映させたマシンで大会に挑みたいと思います。

■スポンサー

無 (5月31日現在)

注)

- (CP) チームキャプテン
- (FA) ファカルティアドバイザー

# 主催・後援・協賛 大会スタッフ

## Organisers / Sponsors / Co-Sponsors / Competition Staff

主催： 自動車技術会

後援： 文部科学省, 経済産業省, 国土交通省, 静岡県, 日本自動車工業会, NHK, 日本テレビ放送網, 東京放送, フジテレビジョン, テレビ朝日, 静岡新聞社, 静岡放送, 静岡朝日テレビ, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 日本経済新聞社, 日刊工業新聞社, フジサンケイビジネスアイ, 日刊自動車新聞社, FISITA

協賛： 産業技術総合研究所, 交通安全環境研究所, 計測自動制御学会, 公立大学協会, 潤滑油協会, 日本設計工学会, 日本機械学会, 日本工学会, 日本工学教育協会, 日本工作機械工業会, 日本ゴム協会, 日本ゴム工業会, 日本材料学会, 日本自動車研究所, 日本自動車車体工業会, 日本自動車整備振興会連合会, 日本自動車タイヤ協会, 日本自動車販売協会連合会, 日本自動車部品工業会, 日本自動車連盟, 日本私立大学協会, 日本私立大学連盟, 日本陸用内燃機協会, 溶接学会

### 大会本部

大会委員長	高原正雄(いすゞ中央研究所)	大会副委員長	久村春芳(日産自動車)
大会副委員長	樋口世喜夫(自動車技術会)	審査委員長	小林信雄(トヨタ自動車)
競技委員長	橋本健(本田技術研究所)		

### 大会スタッフ

#### 審査【車検】

※ 山岸康一(トヨタ自動車), 結城昭宏(いすゞ自動車), 田代秀夫(三菱ふそうトラック・バス), 佐伯尚文(カルソニックカンセイ), 甘楽順一(プリチストーン), 伊藤靖浩(三菱自動車工業), 青木繁太(プリチストーン), 福島良太郎(プリチストーン), 石川健仁(ジャトコ), 久本昭彦(小野測器), 平田秀徳(小野測器), 西英之(マツダ), 松下幸治(マツダ), 小倉康則(ダイハツ工業), 藤井善成(ダイハツ工業), 溝口寿弘(日産自動車), 川崎俊輔(日産自動車), 宮本功(日産自動車), 白石暁(横浜ゴム), 桜井秀明(トヨタ自動車), 加藤誠(トヨタ自動車), 荒川英俊(スズキ), 関昭弘(ヤマハ発動機), 坂井浩二(ヤマハ発動機), 柴山隆(三菱自動車工業), 本田篤(川崎重工業), 阪口史朗(川崎重工業), 坂井敏之(本田技術研究所), 小原栄太郎(本田技術研究所), 飯倉計彦(本田技術工業), 渋谷真(富士重工業), 関根太郎(日本大学), 飯島晃良(日本大学), 関谷直樹(日本大学), 小鷹幸一(トヨタ自動車), 斎藤正和(トヨタ自動車), 塩原大介(トヨタ自動車), 浜田進(トヨタ自動車), 吉永真(トヨタ自動車), 森久男(マイスタークラブ), 松澤卓(横浜国立大学), 浜口康彦(上智大学), 静岡理工科大学, 神奈川工科大学, 静岡大学

#### 【静的審査】

※ 下山修(日産自動車), 田中秀夫(プリチストーン), 勝又哲史(ジャトコ), 森田淳(三菱自動車工業), 奥田誠(三菱自動車工業), 重松良平(日本発条), 堀川敦(富士重工業), 羽深清一(デンソー), 影山秀年(ヤマハ発動機), 倉田明(ヤマハ発動機), 宮崎知之(NSKワーカー), 佐藤光広(住友ゴム工業), 大田佳宏(日野自動車), 木村哲基(日野自動車), 木下有司(日野自動車), 福田治男(トヨタ車体), 高井喜一郎(愛知機械工業), 龍田恭司(いすゞ自動車), 石坂建治(いすゞ自動車), 竹中聡(いすゞ自動車), 中尾頼人(日産自動車), 鈴木健(日産自動車), 中島裕(日産自動車), 中山弘樹(日産自動車), 寺山和宏(日産自動車), 四谷隆久(日産車体), 西本雄二(スズキ), 塚原紀昭(スズキ), 大澤宏(スズキ), 浅井務(トヨタ自動車), 東野元(ダイハツ工業), 佐々木健一(ダイハツ工業), 平田都史彰(ダイハツ工業), 松末龍二(マツダ), 銭谷恒明(マツダ), 実藤和致(横浜ゴム), 土井茂(日産ディーゼル工業), 和田真幸(日産ディーゼル工業), 永田龍三郎(アイシン精機), 谷光志(日立製作所), 田中紀芳(日立製作所), 林裕人(豊田自動織機), 橋本隆志(日産自動車), 森本清仁(トヨタ自動車), 飯野龍雄(富士重工業), 長谷川淳一(トヨタ自動車), 沢田護(デンソー), 小泉伸一(本田技術研究所), 有ヶ谷英人(本田技術研究所), 細野健二(本田技術研究所), 中山弘(本田技術研究所), 高木久光(本田技術研究所), 石川薫(川崎重工業), 田中邦博(川崎重工業), 関根山典明(ショーワ), 戸田宗敬(サトープレス工業), 小野昌朗(デザイン審査特別審査員長, 東京R&D)

#### 【動的審査】

※ 田中均(日産自動車), 鈴木彰(日産ディーゼル工業), 松浦洋行(アイシン精機), 村田晃宏(アイシン精機), 小林興次(ヤマハ発動機), 山田宗幸(ヤマハ発動機), 高田一茂(日野自動車), 渡辺真一(スズキ), 原田健太(住友ゴム工業), 河端智(日産車体), 内山直人(日産車体), 鬼村直樹(ヤマハ発動機), 安井宏樹(三菱自動車工業), 谷本隆一(トヨタ車体), 渡辺敏彦(ジャトコ), 竹中一希(デンソー), 吉本光洋(マツダ), 松本慎弥(マツダ), 日野浦公文(ダイハツ工業), 遠藤幸雄(ダイハツ工業), 友田敬(ダイハツ工業), 奥村晃一(日産自動車), 田村淳(日産自動車), 岩田幸人(日産自動車), 矢野智宏(日産自動車), 上原勇(日産自動車), 熊谷和哉(日産自動車), 阿部学(日産自動車), 内田亮(日産自動車), 森仲雅一(日産自動車), 伊原哲(トヨタ自動車), 鶴岡龍太(トヨタ自動車), 安達浩教(トヨタ自動車), 都筑康仁(トヨタ自動車), 山本智久(トヨタ自動車), 徳永和博(トヨタ自動車), 鈴木崇士(トヨタ自動車), 藤井成人(トヨタ自動車), 水落定由(トヨタ自動車), 中之裕二(トヨタ自動車), 山田英幸(本田技術研究所), 小倉武司(本田技術研究所), 長井達郎(本田技術研究所), 佐藤亮輔(本田技術研究所), 藤田誠(本田技術研究所), 田中智久(本田技術研究所), 名和里恵(本田技術工業), 児島雅之(日信工業), 新島明(ミツバ), 嶋村誠(富士重工業), 山村英俊(トヨタテクニカルディベロップメント), 藤井晴行(トヨタテクニカルディベロップメント), 佐伯大輔(川崎重工業), 富永淳(川崎重工業), 池田博司(東洋ゴム工業), 小寺豊和(東洋ゴム工業), 長谷川悟(東洋ゴム工業), 位田晴良(福井工業大学), 山田高三(日本大学), 増田好洋(ソモス), 静岡理工科大学, 大阪大学, 自動車技術会

※はイベントキャプテン

### 大会事務局

平本賀一(本田技術研究所), 大野翔(トヨタテクニカルディベロップメント), 大須賀和男(トヨタ自動車), 満田辰美(アイシン精機), 平野雅久(ヤマハ発動機), 三原彰(川崎重工業), 清水祐子(日本発条), 前田大典(スズキ), 西島拓郎(スズキ), 岡秀樹(スズキ), 村山裕哉(スズキ), 中川貴智(スズキ), 小池功浩(プレス工業), 森田啓一郎(プレス工業), 浦田学(三菱自動車工業), 畔上真典(ジャトコ), 湯村洋典(富士重工業), 佐藤貴洋(いすゞ中央研究所), 飯田導平(デンソー), 城阪哲哉(マツダ), 田中克俊(マツダ), 島岡信次(マツダ), 池ヶ谷深(日産自動車), 中山航一(日産自動車), 馬都和哉(日産自動車), 西本幸司(日産自動車), 湊田隼人(日産自動車), 岡山菜緒(日産自動車), 三枝信雄(日産自動車), 福壽電一(トヨタ自動車), 福岡孝和(トヨタ自動車), 山崎勝久(トヨタ自動車), 神谷保(トヨタ自動車), 大坂健二郎(日産テクノ), 新島瞬(本田技術研究所), 森本達也(本田技術研究所), 坊野康晴(本田技術工業), 佐々木玲(本田技術研究所), 中村博(本田技術工業), 加藤幹夫(本田技術研究所), 長谷川ちゆな(本田技術工業), 小川晃央(富士重工業), 加治麻理子(スズキスポーツ), 伊藤宏一(都立産業技術高等専門学校), 宇田和史(神奈川工科大学), 狩野芳郎(神奈川工科大学), 吉田幸司(日本大学), 本田康裕(国土館大学), 土屋高志(静岡理工科大学), 福田充宏(静岡大学), 田部雅彦(ハース), 吉崎一匡(ハース), 村山由香(ハース), 宮本純(ハース), 松下元秀(自動車技術会), 田渡喜章(自動車技術会), 森勝(自動車技術会), 福留正彦(自動車技術会), 小高徹(自動車技術会), 高橋周孝(自動車技術会), 秋野裕, 大垣邦生, 木村俊則, 自動車技術会

### 学生

上智大学, 名古屋大学, 東京電機大学, 宇都宮大学, 立命館大学, 日本大学理工学部, 東京大学, 国土館大学, 千葉大学, 金沢大学, 横浜国立大学, 静岡大学, 京都大学, 武蔵工業大学, 大阪市立大学, 名古屋工業大学, 東京理科大学, 芝浦工業大学, 近畿大学理工学部, 信州大学, 神戸大学, 慶應義塾大学, ホンダテクニカルカレッジ関東, 大阪大学, 同志社大学, 大同工業大学, 静岡理工科大学, 名城大学, 東京農工大学, 東海大学, 九州工業大学, 明星大学, 高知工科大学, ものつくり大学, 福井大学, 日本大学生産工学部, 岐阜大学, 金沢工業大学, 北海道大学, 九州産業大学, 大阪産業大学, ホンダテクニカルカレッジ関西

### 全日本 学生フォーミュラ委員会

委員長	高原 正雄	いすゞ中央研究所	委員	小林 信雄	トヨタ自動車
副委員長	久村 春芳	日産自動車		後藤 新一	産業技術総合研究所
	橋本 健	本田技術研究所		鈴木 俊宏	スズキ
幹事	樋口 世喜夫	自動車技術会		高橋 武秀	日本自動車部品工業会
委員	内山 眞成	日本自動車車体工業会		名尾 良泰	日本自動車工業会
	大須賀 和男	トヨタ自動車		西村 和洋	マツダ
	太田 誠一	三菱自動車工業		萩原 文二	日野自動車
	大西 洋二	川崎重工業		藤森 文雄	アイシン精機
	小川 王幸	デンソー		松林 淳	ダイハツ工業
	加藤 幹夫	本田技術研究所		向尾 昭夫	日立製作所
	木村 隆昭	ヤマハ発動機		鷲頭 正一	富士重工業

### 全日本 学生フォーミュラ委員会戦略チーム

委員長	久村 春芳	日産自動車	委員	高原 正雄	いすゞ中央研究所
幹事	樋口 世喜夫	自動車技術会		中村 博	本田技研工業
委員	伊藤 宏一	東京都立産業技術高等専門学校		橋本 健	本田技術研究所
	小林 信雄	トヨタ自動車		吉田 幸司	日本大学

### 全日本 学生フォーミュラルール委員会

委員長	伊藤 宏一	東京都立産業技術高等専門学校	委員	加藤 幹夫	本田技術研究所
副委員長	山岸 康一	トヨタ自動車		本田 篤	川崎重工業
				吉田 幸司	日本大学

### 全日本 学生フォーミュラ実行委員会

委員長	平本 賀一	本田技術研究所	委員	田中 均	日産自動車
副委員長	下山 修	日産自動車		田部 雅彦	ハーズ
	本田 康裕	国土館大学		土屋 高志	静岡理科大学
	松下 元秀	自動車技術会		中村 博	本田技研工業
	山岸 康一	トヨタ自動車		平野 雅久	ヤマハ発動機
委員	飯田 導平	デンソー		本田 篤	川崎重工業
	飯野 龍雄	富士重工業		満田 辰美	アイシン精機
	伊藤 宏一	東京都立産業技術高等専門学校		三原 彰	川崎重工業
	岡 秀樹	スズキ		吉田 幸司	日本大学
	狩野 芳郎	神奈川工科大学	アドバイザー	大須賀 和男	トヨタ自動車
	神谷 保	トヨタ自動車		大野 翔	トヨタテクニカルデベロップメント
	佐々木 健一	ダイハツ工業		三枝 信雄	日産自動車
	島岡 信次	マツダ			
	関根 太郎	日本大学			

# Formula SAE®とは

## About Formula SAE® Competition

### Formula SAE®とは

『ものづくりによる実践的な学生教育プログラム』としてFormula SAE®(SAE International主催)が1981年(4輪自動車生産で日本が米国を追い抜き世界一になった翌年)に米国で初めて開催された。この大会の前身は1976年に開催されたオフロードの8馬力バギーの製作競技で、これが1978年にオンロードのミニインディとして発展し、1981年にシャシーだけでなくエンジンも設計・製作する現在のFormula SAE®に発展したものである。

学生のみで組織されたチームが、約1年間でフォーミュラスタイルのレーシングマシンを製作し、その設計・製作能力、製作したマシンの性能を競う総合競技。第1回大会のエントリーはわずか6校で、競技参加は4校だったが、26回目を迎えた2006年からは、5月にデトロイト、6月にロサンゼルス郊外の2ヶ所にわかれての開催となり、併せて、200チーム以上がエントリーする大会に発展している。

大会のホスト役は、最初の10年間は全米各地の大学が担い、1991年GM、92年フォード、93年クライスラーが担い、94年以降は米国ビッグ3とSAE Internationalがコンソーシアムを結成し大会のホスト役を担っている。米国企業は、Formula SAE®が自動車関連企業にとって即戦力となる技術者を育成する大会であると認知している。日本からは、2000年に5大学1高専の合同チームが初参戦以降、毎年2~4チームが参戦している。

### 世界各地で開催されるフォーミュラ大会

1997年、Formula SAE®に英国のリーズ大学が北米以外からのチームとして初めて参戦した。その翌年の1998年、英国でFormula Studentが開催され、2000年からオーストラリアでFormula SAE® Australasia、2004年からブラジルでFormula SAE® Brazil、2005年からイタリアでFormula SAE® Italy、2006年からドイツでFormula Student Germanyが開催されている。なお、2003年から開催している日本の大会は、アメリカ、イギリスに次ぐ規模の大会となっている。

### 世界の大会(過去1年)

大会名称	開催国	開催期間	チーム数
2007 Formula SAE® West	米国	2007.6.13~16	81
2007 Formula SAE®	米国	2007.5.16~20	106
2006 Formula SAE® Australasia	豪州	2006.12.14~17	27
2006 Formula SAE® Brazil	ブラジル	2006.10.5~8	10
2006 第4回全日本 学生フォーミュラ大会	日本	2006.9.13~16	50
2006 Formula SAE® Italy	イタリア	2006.9.7~10	24
2006 Formula Student Germany	ドイツ	2006.8.3~6	24
2006 Formula Student	英国	2006.7.5~8	77

# 大会開催の経緯 History of Competition

## 2000 Formula SAE® に初挑戦

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会のなかに「Challenge! Formula SAE。」プロジェクトが発足し、基本設計、空力特性などを検討した。1998年4月、5大学1高専の合同チーム「Challenge! NIPPON」チームが発足し、エンジンは国士館大学、ワイヤハーネスは上智大学、メインフレームは東京都立航空工業高等専門学校、カウルは日本大学、サスペンション、ステアリング、組み立ては神奈川工科大学が担当した。

Formula SAE。は、排気量610cc以下の4サイクルエンジンの使用が義務づけられている。「Challenge! NIPPON」チームは、軽自動車の660ccエンジンをストロークダウンにより規定の610cc以下にして臨んだ。排気量608cc、車両質量360kg、FRP製フルカウルの車両で、2000年5月のFormula SAE。にアジアから初参戦した。総合成績は、参加104チーム中28位で、初参加の優秀チームに贈られる新人賞を受賞した。

以降、2001年は、国士館大学・上智大学・日本大学の合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦した。2000 Formula SAE。プロジェクトでは活動方針、進行管理などについては担当の先生に委ねがちであったが、2001 Formula SAE。ではマネジメント、進行管理、広報活動についても学生自身が自ら行った。参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大チーム92位。

2002年は3チームが単独校として参戦し、参加125チーム中、国士館大学チーム74位、神奈川工科大学チーム77位、上智大学チーム86位。



2000年合同チームの車両



2001年合同チームの車両

## 日本大会に向けてのトライアルイベント開催

トライアルイベントは、本大会開催に向けた大会運営リハーサルと位置づけ、2001年9月23、24日にツインリンクもてぎで開催した。参加車両は、2000 Formula SAE。参戦の合同チーム車両J-001、2001 Formula SAE。参戦の合同チーム車両J-002と神奈川工科大学チーム車両K-001の3台。Formula SAE。で行われている車検、静的評価、動的評価を一通り行った。このトライアルイベントにより一通りの大会運営ノウハウを得、2003年の本大会開催に向けて本格的な準備を進めることになった。



2001年神奈川工科大学チーム

## 第1回 全日本 学生フォーミュラ大会に向けての試走会開催

2003年9月開催の第1回 全日本 学生フォーミュラ大会、および5月開催の2003 Formula SAE。に向けた試走会を3月10、11日、関東支部が主催し、ツインリンクもてぎ北ショートコースにて開催した。参加車両は、宇都宮大学・明星大学合同、神奈川工科大学、国士館大学、東京電機大学、東京大学、慶應大学、武蔵工業大学、金沢工業大学の8チーム。その他、走行会に車両製作が間に合わなかったが第1回大会に参加を予定しているチームや、第2回以降の大会参加を目指し見学参加した大学を含め24大学、総勢400名近い盛大な走行会となった。車検、練習走行、ブレーキテストを行い、これらをパスした5台の車両が加速、スキッドパッド、周回コースを走行した。

この他にも、同年8月2,3日にアイシン精機藤岡テストコース（豊田市藤岡町）にて中部支部と関西支部を主体にした試走会が開催された。



2002年国士館大学チーム

## 第1回～第4回大会の結果

	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
第1回大会	上智大学	国士館大学	東京大学	神奈川工科大学	宇都宮大学	金沢大学
第2回大会	University of Texas at Arlington	神奈川工科大学	国士館大学	芝浦工業大学	宇都宮大学	金沢工業大学
第3回大会	金沢大学	神奈川工科大学	国士館大学	芝浦工業大学	東京電機大学	日本大学理工学部
第4回大会	上智大学	名古屋大学	University of Michigan - Ann Arbor	東京電機大学	宇都宮大学	立命館大学



2001年トライアルイベント

### 第4回 全日本 学生フォーミュラ大会参戦記

上智大学 Sophia Racing  
2006年度プロジェクトリーダー 泉 隼太

"上智大学 総合優勝"

2003年第1回日本大会、当時、1年生であった僕は何もわからず、Sophia Racingは強いチームなんだとそのすごさを感じていた。その後も活動を続け、第2回、第3回大会と、Sophia Racingは思うような結果が出せない時期が続いていた。そして、2006年、第4回日本大会に向けてチームリーダーの僕と、3人のパートリーダー矢野、伊藤、小室を中心とする新たなチーム体制で、SR05車両開発を行った。昨年度は、チームとして本当の実力が問われる年と考え、チームは結成当時のコンセプト"Prove to the world"を掲げ、Sophia Racingの真価を証明すべく、日本大会総合優勝を目指しチーム一丸となって活動を行ってきた。

SR05車両においてはこれまでに得た技術や知識をより活かすために、すべての部品を基本設計から見直し、"軽量""低重心""商品性"3つのコンセプトを兼ね備えた、世界に通じる車両を目指した。そのために空力解析、疲労解析といった新しい設計手法をとり入れることにより、昨年度車両より25kgの軽量化が実現された。4月23日のシェイクダウン以降多くの試験走行をくり返し、第4回日本大会へ出場した。

今大会は、第1回目の世界大会として開催され、ミシガン大学の招待参加、そして過去最大参加数である50校の大学が参加する大会となった。静的イベントにおいては、課題はさまざまあったものの順調に競技を終えていった。そして、競技は後半の動的イベントへ移行する。雨がやみ、路面がわずかに濡れている状態で、アクセラ・スキッドパッドを終了し、オートクロス競技に望んだ。しかし、オートクロス1回目走行中、今まで順調に走行していたにも関わらず、突如として車両の挙動が安定しなくなった。



突然のトラブルにオートクロス2回目を前にチームには、不安と焦りが入り混じった空気が流れた。問題を解決するために、トルクチェックやアライメントチェックと自分達ができることをすべて行った。日没ギリギリ、SR05は車両確認を終え、最後のオートクロスに向けてピットを後にした。車両走行中、チーム全員がエースドライバーである前田が操るSR05車両を祈るような思いで見つめていた。そしてタイムは "44秒36" なんと最後の最後でトップタイムをたたき出すことができた。これで今までの流れは完全に変わったと確信した。次の日の最終競技エンデュランスでは、ミシガン大学と2台での走行であった。途中ひやりとする場面もあったが、SR05は無事に走行することができ、すべての競技種目を終えた。



そして最終日、表彰式"総合優勝 上智大学"と呼ばれると共に、僕は中央の舞台に向かった。思わず涙が出てきた。一年間の努力が実った瞬間だった。こうして一年を振り返ってみると、2005年9月末に何も分からずリーダーとなり、2005年12月オーストラリア大会、2006年6月アメリカ西大会の異国の地での戦い、そして2006年9月日本大会総合優勝。

Sophia Racingのリーダーとなった日から、とにかくがむしゃらに走り続けてきた。そして感じたことは1人では何も出来ないということ。つまりは、周りの人々の協力なしではここまでやってこれなかったと、しみじみ感じている。最後にこのようなすばらしい機会を与えてくれた本大会、そして、今まで指導していただいた先生、苦楽をともにしたチームメンバー、チームを支えていただいたスポンサーそして Sophia Racingに関係してきた多くの方々に感謝すると共に、今後もこの有意義な活動である学生フォーミュラ大会がより発展することを祈っている。

# 第4回ドキュメント

## 4th Competition Result

### 第4回大会 (2006.9.13~16)

第4回大会は、2006年9月13日~16日にエコパ(小笠山総合運動公園)で開催された。120を超える企業、団体からのスポンサーを得て、エントリーチーム52チーム、当日の参加は海外4チームを含め、50チームとなった。参加者は大会スタッフ268名、チームメンバー1,029名、プレス関係者、一般見学者を含めると約2,000名の規模の大会になった。また、記念すべき第1回のFISITA Formula SAE World Cupを兼ねての大会となった。

大会1日目。天候曇り。初日の車検は、最大の難関である技術審査を27チームが通過し上々の滑り出しとなった。静的審査は、コスト審査、デザイン審査が芝生広場のテントで行われ、プレゼンテーション審査はエコパアリーナで行われた。

大会2日目。天候雨のち曇り。前夜から降り続いた雨の影響で、アクセラレーション、スキッドパッドのスタートが見送られたが、天候の回復とスタッフの懸命なコース整備により10時30分に審査をスタートした。アクセラレーションに望んだチームは30チーム、スキッドパッドに望んだチームは24チーム。午後は、午前中新たに車検を通過したチームを加え、36チームがオートクロスに臨んだ。

大会3日目。天候曇り。動的審査のメインイベントのエンデュランスが予定通り朝8時にスタートした。この日と大会最終日の午前中にまたがって行われた審査に臨んだチームは35チーム。22kmというタフな走行にリタイアも続出したが、24チームが完走した。

大会最終日。天候晴れ。エンデュランスの2日目が行われ、初日のデザイン審査で選ばれた6チームによるデザインファイナル審査が行われた。優秀チームの設計内容を聞こうと多くのチーム関係者が熱心にメモを取りながら審査の様子を見学していた。また、静岡県石川知事もお越しになり、大会を熱心にご観戦いただいた。全ての審査が終わった午後、チームメンバー、大会スタッフ、関係者全員による総勢約1,200名による集合写真を撮影し、会場をエコパアリーナに移して表彰式を行い、今年の大会の幕を閉じた。



【 1 位 】  
上智大学



【 2 位 】  
名古屋大学



【 3 位 】  
University of Michigan - Ann Arbor

- 4位 東京電機大学
- 5位 宇都宮大学
- 6位 立命館大学
- 7位 日本大学理工学部
- 8位 東京大学
- 9位 国土舘大学
- 10位 千葉大学
- 11位 金沢大学
- 12位 横浜国立大学
- 13位 静岡大学
- 14位 京都大学
- 15位 武蔵工業大学
- 16位 大阪市立大学
- 17位 名古屋工業大学
- 18位 岡山大学
- 19位 Korea University of Technology and Education
- 20位 東京理科大学
- 21位 芝浦工業大学
- 22位 神奈川工科大学
- 23位 首都大学東京

- 24位 工学院大学
- 25位 近畿大学理工学部(大阪)
- 26位 University of Ulsan
- 27位 信州大学
- 28位 神戸大学
- 29位 茨城大学
- 30位 早稲田大学
- 31位 慶應義塾大学
- 32位 ホンダテクニカルカレッジ関東
- 33位 大阪大学

- 34位 同志社大学
- 35位 大同工業大学
- 36位 静岡理科大学
- 37位 名城大学
- 38位 千葉工業大学
- 39位 東京農工大学
- 40位 東海大学
- 41位 九州工業大学
- 42位 明星大学
- 43位 高知工科大学

- 44位 福井工業大学
- 45位 Southern Taiwan University of Technology
- 46位 ものづくり大学
- 47位 豊橋技術科学大学
- 48位 福井大学
- 49位 日本大学生産工学部
- 50位 岐阜大学

# 大会グラビア【2006年 第4回大会】

Photo gallery



*Practice*



*Acceleration*



*Skid-Pad*



*Team Photo*



*Autocross*



*Endurance*

## Competition Site



## ECOPA Guide Map

